

# 平成30年度 事業報告書



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

山口県支部

# Mission statement

## 日本赤十字社の使命

わたしたちは、苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、  
いかなる状況下でも、人間のいのちと健康、尊厳を守ります。

## わたしたちの基本原則

わたしたちは、世界中の赤十字が共有する  
7つの基本原則にしたがって行動します。

- 人 道：人間のいのちと健康、尊厳を守るため、  
苦痛の予防と軽減に努めます。
- 公 平：いかなる差別もせず、最も助けが必要な人を優先します。
- 中 立：すべての人の信頼を得て活動するため、  
いっさいの争いに加わりません。
- 独 立：国や他の援助機関の人道活動に協力しますが、  
赤十字としての自主性を保ちます。
- 奉 仕：利益を求めず、人を救うため、自発的に行動します。
- 単 一：国内で唯一の赤十字社として、  
すべての人に開かれた活動を進めます。
- 世界性：世界に広がる赤十字のネットワークを生かし、  
互いの力を合わせて行動します。

## わたしたちの決意

わたしたちは、赤十字運動の担い手として、  
人道の実現のために、  
利己心と闘い、無関心に陥ることなく、  
人の痛みや苦しみに目を向け、  
常に想像力をもって行動します。

## 目 次

|                           |    |
|---------------------------|----|
| はじめに .....                | 1  |
| 1 災害救護体制の充実・強化 .....      | 2  |
| 2 健康・安全のための知識・技術の普及 ..... | 10 |
| 3 青少年赤十字活動 .....          | 13 |
| 4 国際活動 .....              | 18 |
| 5 赤十字奉仕団による活動 .....       | 19 |
| 6 赤十字思想の普及 .....          | 24 |
| 7 赤十字活動資金の確保 .....        | 29 |
| 8 医療事業 .....              | 30 |
| 9 看護師の養成 .....            | 35 |
| 10 血液事業 .....             | 35 |
| 11 評議員会及び監査等 .....        | 39 |

## はじめに

平素より、日本赤十字社山口県支部・施設の活動に、格別のご支援とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

おかげをもちまして、平成30年度につきましても、支部と施設、そして、奉仕団員等の赤十字関係者が一体となって、いのちと健康、尊厳を守るための赤十字事業を円滑に推進することができました。

また、当支部は、平成30年に設立130年の節目を迎えました。この間、人道・博愛の赤十字精神を基調として、戦時・災害時、平時において幅広い人道的支援活動を行うことができたのは、諸事業を資金や活動面で支えていただいている県民の皆様並びに地区・分区や赤十字奉仕団をはじめとする関係者の皆様の深いご理解と温かいご支援の賜物であり、心から感謝を申し上げます。

さて、平成30年は、世相を表す漢字として「災」が選ばれたように、大阪北部地震から、西日本豪雨災害、北海道胆振東部地震など、自然の脅威を改めて痛感した年でした。特に、7月の西日本豪雨では、10府県におよぶ広範囲の地域で災害が発生し、山口県内にも被害が及びました。

当支部では、山口県内の被災者へ救援物資を配布し、また、被災者支援のための義援金の募集を行うとともに、甚大な被害を受けた広島県へ救護班やこころのケア班、災害対策本部要員を派遣しました。

このように、いつ起こるかわからない災害に的確な対応をするために、救護体制の充実・強化、資器材等の整備を平時から進めております。

平成30年度の支部、病院、血液センターそれぞれの事業の詳細については、当報告書にまとめておりますので、ご高覧ください。お気づきの点など、ご意見をいただけると幸甚に存じます。

今後とも、職員、奉仕団員の総力を結集して、新たな時代においても赤十字の使命である人道支援活動を継続して参りますので、引き続き皆様のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日本赤十字社山口県支部

## 1 災害救護体制の充実・強化

災害救護は、日本赤十字社法に明示された赤十字の事業の中で最も重要なものです。山口県支部では、いつ起こるか分からない災害に備えて常備救護班を配備し、各施設に救護要員を登録して訓練や研修を行うとともに、必要な資器材を整備して体制の強化を図りました。

また、災害における被害を軽減・抑止するため、防災・減災の普及・啓発を進めるなど、災害マネジメントサイクル全体に対応できる体制を整えました。

### (1) 平成30年7月豪雨災害の対応

6月28日以降の台風第7号や梅雨前線の影響により、西日本を中心に全国的に広い範囲で豪雨が発生し、山口県内はもとより特に西日本に甚大な被害をもたらしました。山口県支部では、県内の地区・分区の要請により、救援物資の補充を行いました。それとともに、広島県支部の要請を受けて救護活動等を実施しました。

#### ①救護班の派遣

山口・小野田両赤十字病院から、広島県安芸郡坂町の小屋浦小学校救護所へ救護班を派遣しました。

| 班名  | 派遣期間      | 派遣員                |
|-----|-----------|--------------------|
| 第1班 | 7月9日～11日  | 山口赤十字病院職員7人、支部職員1人 |
| 第2班 | 7月26日～29日 | 小野田赤十字病院職員6人       |

#### ②日本赤十字社広島県支部災害対策本部支援

日本赤十字社広島県支部災害対策本部の支援のために、職員を派遣しました。

| 派遣期間      | 派遣員             |
|-----------|-----------------|
| 7月9日～14日  | 日本赤十字社山口県支部職員1人 |
| 7月26日～30日 | 日本赤十字社山口県支部職員1人 |

#### ③こころのケア班の派遣

被災地でこころのケアを行うために、広島県呉市にこころのケア班を派遣しました。

| 班名        | 派遣期間      | 派遣員         |
|-----------|-----------|-------------|
| こころのケア第1班 | 8月26日～31日 | 山口赤十字病院職員4人 |

#### ④救援物資の配布と補充

県内で被災された方々に対し、地区・分区を通じて速やかに救援物資を配布するとともに、地区・分区へ補充を行いました。

##### 【7月豪雨災害時に配布】

| 毛布   | バスタオル | 緊急セット | 安眠セット |
|------|-------|-------|-------|
| 889枚 | 259枚  | 9セット  | 64個   |

### ⑤奉仕団活動

このほかに、防災奉仕団員によるボランティアセンターの業務支援、学生奉仕団による義援金募集活動、地域奉仕団によるボランティアのための炊き出しなどが行われました。

#### <広島県支部災害対策本部及び救護班・こころのケア班の活動>



## (2) 救護班の編成、救護要員の養成・訓練・研修の実施

### ①救護班と救護要員の登録・養成

災害発生後、直ちに医療救護活動ができるよう、山口及び小野田両赤十字病院の医師や看護師等で編成した常備救護班8個班を配備するとともに、各施設に救護要員を登録し、救護体制の強化に努めました。

【施設別救護班編成状況および救護要員の職種別登録者数（平成30年4月1日現在）】

| 施設<br>区分 | 常備<br>編成数<br>救護班 | 本部<br>災害<br>対策<br>要員 | 救護班要員  |                  |             |        |             | 血液<br>供給<br>要員 | 特殊<br>救護<br>要員 | 合計   |
|----------|------------------|----------------------|--------|------------------|-------------|--------|-------------|----------------|----------------|------|
|          |                  |                      | 医<br>師 | 看<br>護<br>師<br>長 | 看<br>護<br>師 | 主<br>事 | 薬<br>剤<br>師 |                |                |      |
| 支 部      | －                | 10人                  | －      | －                | －           | －      | －           | －              | －              | 10人  |
| 山口赤十字病院  | 6個班              | 5人                   | 12人    | 10人              | 326人        | 24人    | 2人          | －              | －              | 379人 |
| 小野田赤十字病院 | 2個班              | 3人                   | 3人     | 4人               | 8人          | 12人    | 1人          | －              | －              | 31人  |
| 血液センター   | －                | 8人                   | 1人     | －                | 18人         | 21人    | －           | 10人            | －              | 58人  |
| 合 計      | 8個班              | 26人                  | 16人    | 14人              | 352人        | 57人    | 3人          | 10人            | 0人             | 478人 |

【救護班1個班の編成基準】※第1班には、薬剤師1名を加えて7名で編成します。

| 医師（班長） | 看護師長 | 看護師 | 主事（事務） | 計  |
|--------|------|-----|--------|----|
| 1人     | 1人   | 2人  | 2人     | 6人 |

②救護要員の訓練・研修

赤十字の使命である災害救護活動を迅速かつ的確に実施するため、計画的な救護訓練や研修会を通じて救護知識の習得と技術の向上を図りました。

【災害救護訓練】

| 訓 練 名                | 開催月日   | 主 催             | 会 場          | 参加者数                    |
|----------------------|--------|-----------------|--------------|-------------------------|
| 山口県総合防災訓練            | 6月17日  | 山口県、<br>山口市、防府市 | 山口県消防学校      | （職 員）11人<br>（ボランティア）12人 |
| 大規模地震時<br>医療活動訓練     | 8月4日   | 高知県             | 高知赤十字病院<br>他 | 7人                      |
| 救護員としての<br>看護師研修総合演習 | 10月28日 | 日赤山口県支部         | カリエンテ山口      | 26人                     |
| 山口県支部災害救護訓練          | 3月21日  | 日赤山口県支部         | 日赤山口県支部      | 24人<br>スタッフ 11人         |

【災害救護研修】

| 訓 練 名                | 開催月日           | 主 催                 | 会 場                 | 参加者数           |
|----------------------|----------------|---------------------|---------------------|----------------|
| 救護員としての看護師研修         | 2月～10月         | 山口赤十字病院<br>小野田赤十字病院 | 山口赤十字病院<br>小野田赤十字病院 | 24人<br>2人      |
| こころのケア要員養成研修会        | 9月29日<br>1月26日 | 日赤山口県支部             | 日赤山口県支部<br>小野田赤十字病院 | 14人<br>11人     |
| 全国赤十字救護班研修会          | 10月<br>5日～7日   | 日本赤十字社              | 日本赤十字社本社            | 2人             |
| 日赤災害医療コーディネート<br>研修会 | 12月<br>7日～8日   | 日本赤十字社              | 日本赤十字社本社            | 2人             |
| こころのケア指導者養成研修        | 12月<br>10日～12日 | 日本赤十字社              | 日本赤十字<br>看護大学       | 1人             |
| 全国赤十字救護班研修会          | 2月<br>16日～18日  | 日本赤十字社              | 神戸赤十字病院             | 3人<br>スタッフ 4人  |
| 第5ブロック災対本部要員<br>研修会  | 2月<br>21・22日   | 日赤山口県支部             | 日赤山口県支部             | 11人<br>スタッフ 2人 |

※第5ブロック（中・四国9県支部）



山口県総合防災訓練



救護員としての看護師研修



山口県支部災害救護訓練

### (3) 救護装備の整備

#### ①災害救護装備の更新及び整備

災害時等に迅速・的確に対応するために、毎年必要な救護装備の更新及び整備を行っています。今年度は、救護員用の非常食の整備を行いました。また、救護班要員用の携帯用バイタル測定セットも整備しました。

業務用無線については、定期的な点検等を行い、一部更新を行うことにより、いつ起こるか分からない災害に備えました。

#### 【保有救護用資・器材】

| 品 目         | 支部     | 病院    | 血液センター | 合計     |
|-------------|--------|-------|--------|--------|
| 医療セット       | 2 セット  | 2 セット |        | 4 セット  |
| 携帯用医療セット    | 1 セット  |       |        | 1 セット  |
| パイプテント      | 17 張   | 2 張   | 2 張    | 21 張   |
| ドラッシュテント    | 2 張    |       |        | 2 張    |
| エアテント       | 1 張    |       |        | 1 張    |
| 担架          | 13 台   | 3 台   |        | 16 台   |
| 折畳寝台        | 17 台   | 12 台  |        | 29 台   |
| 発電機         | 2 台    |       |        | 2 台    |
| 蓄電池         | 2 台    |       |        | 2 台    |
| 投光器         | 1 台    |       |        | 1 台    |
| 折畳テーブル      | 4 台    |       |        | 4 台    |
| 折畳ホワイトボード   | 2 台    |       |        | 2 台    |
| 除染エアテント一式   | 1 セット  |       |        | 1 セット  |
| 防護マスク       | 12 個   |       |        | 12 個   |
| 防護服セット      | 12 セット |       |        | 12 セット |
| 除染済者セット     | 50 セット |       |        | 50 セット |
| 個人線量計       | 28 個   |       |        | 28 個   |
| サーバイメーター    | 1 個    |       |        | 1 個    |
| 衛星携帯電話      | 5 台    |       | 3 台    | 8 台    |
| 無線 (150MHz) | 22 台   | 2 台   | 16 台   | 40 台   |
| 無線 (400MHz) | 23 台   | 3 台   |        | 26 台   |

【保有救護用車両】

| 車両種別  | 支部  | 山口病院 | 小野田病院 | 合計   |
|-------|-----|------|-------|------|
| 救急車   | 1 台 | 1 台  | 1 台   | 4 台  |
| 災害救援車 | 7 台 |      | 1 台   | 8 台  |
| 合計    | 8 台 | 1 台  | 2 台   | 11 台 |

②A E Dの整備

人間の苦痛を予防・軽減するという「赤十字の使命」を達成することを目的に、各地区・分区の要請等により公共施設等へA E Dの整備を行いました。

【A E Dの整備台数】（単位：台）

| 年度 | H19～23 | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | 合計  |
|----|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 新規 | 103    | 15  | 11  | 4   | 8   | 6   | 0   | 147 |
| 更新 |        |     | 27  | 26  | 17  | 14  | 12  | 96  |

（４）救援物資の備蓄・配布

赤十字では、災害等の発生に備えて救援物資を備蓄しており、本年度も火災等の被災者へ配布しました。

【備蓄数】

|           | 毛 布     | 緊急セット   | 安眠セット | バスタオル   | タオルケット |
|-----------|---------|---------|-------|---------|--------|
| 地 区 分 区   | 2,661 枚 | 556 個   | 364 個 | 1,221 枚 | 0 枚    |
| 山 口 県 支 部 | 500 枚   | 132 個   | 78 個  | 500 枚   | 300 枚  |
| 小野田赤十字病院  | 500 枚   | 1,008 個 | 60 個  | 0 枚     | 0 枚    |
| 合 計       | 3,661 枚 | 1,696 個 | 502 個 | 1,721 枚 | 300 枚  |

【配布数】

|       | 毛 布  | 緊急セット | 安眠セット | バスタオル |
|-------|------|-------|-------|-------|
| 配 布 数 | 67 枚 | 24 個  | 15 個  | 140 枚 |

※平成 30 年 7 月豪雨災害での配布を除く



毛布



緊急セット



安眠セット



バスタオル

### (5) 臨時救護

公的な式典、大会等に際して、参加される多くの人々の万が一に備えるために、救護員を派遣しました。

#### 【主催者別実施内訳】

| 主催者等                | 回数<br>のべ日 | 主な行事名                                     | 主な派遣場所          | のべ<br>派遣人数 |
|---------------------|-----------|-------------------------------------------|-----------------|------------|
| 山口県                 | 6回／9日     | 障害者技能競技大会他                                | 沖縄県、<br>山口市、周南市 | 20人        |
| 山口商工会議所             | 2回／3日     | 山口市ふるさとまつり                                | 山口市             | 5人         |
| 山陽小野田市              | 1回／1日     | 焼野美タフェスタ                                  | 山陽小野田市          | 1人         |
| 山口県遺族連盟他            | 2回／2日     | 大慰霊祭                                      | 山口市             | 5人         |
| 山口青年会議所             | 1回／1日     | 青空天国                                      | 山口市             | 2人         |
| 山口県<br>社会福祉協議会      | 1回／1日     | ねんりんピック                                   | 山口市             | 2人         |
| 下関市                 | 1回／1日     | ツールドしものせき                                 | 下関市             | 5人         |
| 山口県総合支援<br>学校体育連盟   | 1回／1日     | 山口県総合支援学校体育大会                             | 山口市             | 2人         |
| 山口県陸上協会             | 3回／3日     | 中国山口駅伝大会他                                 | 山口県内            | 5人         |
| NHK 山口放送局           | 1回／2日     | 学校音楽コンクール                                 | 山口市             | 2人         |
| 山口県消防協会             | 1回／1日     | 消防操法大会                                    | 山口市             | 1人         |
| エフエム山口              | 1回／1日     | コスモアースコンシャス                               | 下関市             | 1人         |
| 山口宇部空港ビル            | 1回／1日     | 空港にぎわいフェスタ                                | 宇部市             | 1人         |
| 全国中途失聴者・<br>難聴者福祉大会 | 1回／2日     | 全国中途失聴者・<br>難聴者福祉大会                       | 下関市             | 2人         |
| 日赤山口県支部             | 4回／10日    | 青少年赤十字リーダーシップ・<br>トレーニング・センター、救急<br>法競技大会 | 山口市             | 10人        |

#### 【イベント種別実施内訳】

| イベント種別  | 派遣回数 | のべ派遣日数 | のべ派遣人数 |
|---------|------|--------|--------|
| 大会・式典   | 8回   | 11日    | 22人    |
| スポーツ大会等 | 11回  | 11日    | 22人    |
| 祭り      | 4回   | 5日     | 8人     |
| 宿泊行事    | 4回   | 10日    | 12人    |
| 合計      | 27回  | 39日    | 64人    |

#### (6) 死亡者弔慰金

県内で災害等により死亡された方のご遺族に対して弔慰金を交付しました。

##### 【死亡者弔慰金】

| 件数   | 交付金額      |
|------|-----------|
| 16 件 | 320,000 円 |

#### (7) 義援金の募集

災害等の発生に際し、日本赤十字社では被災者を支援するために、義援金を募集し、全額を被災地の義援金配分委員会へ送金しました。

| 義援金区分                     | 件数      | 金額            |
|---------------------------|---------|---------------|
| 東日本大震災義援金                 | 107 件   | 1,765,582 円   |
| 平成 28 年熊本地震災害義援金          | 83 件    | 1,638,452 円   |
| 平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金 | 57 件    | 746,838 円     |
| 平成 30 年米原市竜巻災害義援金         | 9 件     | 169,594 円     |
| 平成 30 年大阪北部地震災害義援金        | 19 件    | 343,679 円     |
| 平成 30 年 7 月豪雨災害義援金        | 321 件   | 68,244,127 円  |
| 山口県平成 30 年 7 月豪雨災害義援金     | 469 件   | 451,680,872 円 |
| 平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金     | 60 件    | 5,874,139 円   |
| 合 計                       | 1,012 件 | 530,463,283 円 |

##### 【平成31年 3 月末までの総合計】

| 義援金区分                     | 件数      | 金額              |
|---------------------------|---------|-----------------|
| 東日本大震災義援金                 | 2,585 件 | 1,436,528,887 円 |
| 平成 28 年熊本地震災害義援金          | 1,083 件 | 199,716,010 円   |
| 平成 29 年 7 月 5 日からの大雨災害義援金 | 209 件   | 28,378,017 円    |

#### (8) 防災・減災の普及・啓発

地域の防災力と県民の減災意識向上のため、広く県民を対象とした防災講習会を実施しました。

##### ① 赤十字防災セミナー

日本赤十字社が、全国的に展開している、災害への備え・災害エスノグラフィー・災害図上訓練・応急手当等の『赤十字防災セミナー』を 7 回実施しました。

##### ② 地域における防災講習会・赤十字防災セミナーの実施

自治会・町内会、サークル等に対し、防災講話、避難所で役立つ知識と技術、炊き出し指導や持ち出しリュック作成など支部独自の講習を実施しました。

## 【開催団体別】

| 開催団体種別       | 回 数  |
|--------------|------|
| 自治会          | 14 回 |
| 自主防災会        | 5 回  |
| ボランティア団体等    | 10 回 |
| 幼・保・小・中・高等学校 | 17 回 |
| 各種講座内の 1 つ   | 9 回  |
| その他団体        | 8 回  |
| 合 計          | 63 回 |



### ③ 地域奉仕団に対する防災講習会「赤十字防災・減災フォーラム」の実施

地域奉仕団員を対象に、地域における自助・共助のための講習会を 3 奉仕団、計125人に対し実施しました。



### ④ いのちを守る防災教育を推進する会

下関地方気象台と日本気象予報士会西部支部との 3 者で構成する「いのちを守る防災教育を推進する会」が県下の各学校で、自らのいのちを守る力を身につけ、防災意識の向上を図るセミナーを実施しました。

なお、防府市教育委員会の協力のもと、平成 28 年度から 3 か年計画で市内の小・中学校をモデル校として実施しました。



| 講習・セミナー名              | 小学校                        | 中学校                      | 高等学校     |
|-----------------------|----------------------------|--------------------------|----------|
| 大雨ワークショップ<br>(うちモデル校) | 11 校 443 人<br>( 9 校 428 人) | 8 校 223 人<br>( 4 校 95 人) | 1 校 38 人 |

### (9) 赤十字防災ボランティアの育成

日本赤十字社山口県支部が実施する救護活動を支援し、地域防災に貢献できる人材を養成することを目的として、昨年度新たに登録いただいた赤十字防災ボランティア等に対し、フォローアップ研修として「ボランティアのためのこころのケア研修会」を開催し、11名が参加しました。

## 2 健康・安全のための知識・技術の普及

日本赤十字社では、「人間の苦痛を予防・軽減し、生命の尊厳を確保する」という赤十字の理念のもと、具体的な知識や技術として一般の人々に広めることを目的として、『いのちを守る赤十字講習会』を開催しました。

### 《講習の種類と内容》

| 講習名      | 講習内容                                                                                       |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| 救急法      | 心肺蘇生、AED の使い方、気道異物除去、急病・けがの手当（止血・包帯・固定）、搬送等                                                |
| 水上安全法    | 泳ぎの基本と自己保全、事故者の救助および応急手当、海・河川・湖沼での事故防止等                                                    |
| 幼児安全法    | こどもに起こりやすい事故の予防と手当、こどもの病気と看病、こどもに対する心肺蘇生および AED の使い方等                                      |
| 健康生活支援講習 | 高齢者の健康と安全のために、地域における高齢者支援に役立つ知識と技術、日常生活の具体的な介護の知識と技術、災害が高齢者に及ぼす影響、気をつけたい病気や症状、知って役立つ知識や技術等 |
| 家庭あんま術   | 病気の予防や疲労回復などの健康増進を目的とした、家庭でできるあんま術の知識と技術                                                   |

### （１）各種講習の実施

| 区 分           | 実施時期          | 実施回数  | 受講者数     |
|---------------|---------------|-------|----------|
| 救急法基礎講習       | 通 年           | 14 回  | 260 人    |
| 救急法救急員養成講習    | 通 年           | 11 回  | 189 人    |
| 救急法短期講習       | 通 年           | 300 回 | 12,025 人 |
| 水上安全法救助員Ⅰ養成講習 | 6 月           | 1 回   | 11 人     |
| 水上安全法救助員Ⅱ養成講習 | 7 月           | 1 回   | 11 人     |
| 水上安全法短期講習     | 通 年           | 42 回  | 1,852 人  |
| 幼児安全法支援員養成講習  | 2 月           | 1 回   | 15 人     |
| 幼児安全法短期講習     | 通 年           | 41 回  | 906 人    |
| 健康生活支援員養成講習   | 6 月（2 回）・11 月 | 3 回   | 38 人     |
| 健康生活支援短期講習    | 通 年           | 26 回  | 1,465 人  |
| 家庭あんま術講習      | 通 年           | 3 回   | 50 人     |
| 合 計           |               | 443 回 | 16,822 人 |



水上安全法



健康生活支援講習

## (2) 講習普及指導員の養成及び育成

各講習を普及推進していくために指導員を養成しています。

平成30年度は、日本赤十字社山口県支部救急法講習普及計画に基づき、赤十字の理念と使命を理解し、十分な知識と技術を持った指導力のある実動的な指導員を養成するため、救急法指導員の養成講習会を実施しました。

また、各講習を普及推進していくために、定期的な研修等を通じ資質の向上に努めます。

### 【講習別指導員内訳】

| 区 分         | 人 数  | 平成30年度養成人数 |
|-------------|------|------------|
| 救急法指導員      | 170人 | 10人        |
| 水上安全法指導員Ⅰ   | 6人   | 0人         |
| 水上安全法指導員Ⅱ   | 20人  | 0人         |
| 健康生活支援講習指導員 | 31人  | 0人         |
| 幼児安全法指導員    | 76人  | 0人         |
| 合 計         | 303人 | 10人        |

### 【各講習指導員の育成】

| 研 修 名                                    | 実施時期                                     | 会 場                                                 | 参加者                                             |
|------------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 救急法等指導員研修会                               | 4月7日                                     | カリエンテ山口                                             | 救急法等<br>指導員<br>97名                              |
| 山口県赤十字安全奉仕団各地区<br>研修会・赤十字救急法職員指導<br>員研修会 | ① 5月19日<br>② 5月19日<br>③ 5月26日<br>④ 5月26日 | ① 宇部市総合福祉会館<br>② 日本赤十字社山口県支部<br>③ あいぱーく光<br>④ 岩国市役所 | 救急法等<br>指導員<br>① 27名<br>② 38名<br>③ 23名<br>④ 24名 |
| 水上安全法指導員研修会                              | ① 5月<br>10～12日<br>② 6月30日<br>～7月1日       | きらら博プール<br>山陽小野田市焼野海岸                               | 水上安全法<br>指導員<br>① 15名<br>② 13名                  |
| 幼児安全法指導員研修会                              | 6月23日                                    | ① 日赤山口県支部<br>② あいぱーく光                               | 幼児安全法<br>指導員<br>① 30名<br>② 16名                  |
| 健康生活支援講習指導員研修会                           | 開催なし※                                    | 開催なし                                                | 開催なし                                            |

※本年度に伝達する内容を昨年度伝達したため、開催なし。

### 【救急法指導員養成講習】

| プログラム     | 日 程                               |
|-----------|-----------------------------------|
| 事前説明会・研修会 | 1月19日（土）                          |
| 養成講習      | 2月 2日（土）、3日（日）、8日（金）、9日（土）、10日（日） |
| 新任指導員研修会  | 3月16日（土）、17日（日）                   |

### (3) 救急法競技大会の開催

ワールド・ファーストエイド・デー（世界救急法の日）の関連行事として、県民が日常生活における安全意識を高め、事故や災害時において相互に助け合い、行動できるようになることを目指して、救急法競技大会を開催しました。

|     |              |                 |
|-----|--------------|-----------------|
| 日 時 | 平成30年9月9日（日） | 12時00分～16時30分   |
| 会 場 | 山口南総合センター    | 参加者 120名（32チーム） |
| 成 績 |              |                 |

| 総合優勝   |         | 山口県鴻城高等学校 B |                  |
|--------|---------|-------------|------------------|
| 心肺蘇生の部 |         | 応急手当の部      |                  |
| 優 勝    | モロ      | 優 勝         | 防府高校 J R C 部 O G |
| 準優勝    | 山口県鴻城 B | 準優勝         | 山口県鴻城 B          |
| 第 3 位  | 徳佐分校    | 第 3 位       | 山口県鴻城 F          |



### 3 青少年赤十字活動

次世代を担う青少年が、赤十字精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、加盟校の拡大を進めるとともに、指導体制の充実やメンバーの増強と資質の向上に努めました。

#### ①加盟の状況

| 区分     | 平成 29 年度 | 平成 30 年度 | 増減    | (参考)<br>平成30年度<br>JRC加盟率 |
|--------|----------|----------|-------|--------------------------|
| 幼稚園    | 16 園     | 16 園     | －     |                          |
| 保育園    | 2 園      | 2 園      | －     |                          |
| 小学校    | 68 校     | 74 校     | ＋ 6 校 | 25.7%                    |
| 中学校    | 28 校     | 28 校     | －     | 19.6%                    |
| 高等学校   | 39 校     | 38 校     | － 1 校 | 52.8%                    |
| 特別支援学校 | 1 校      | 1 校      | －     | 8.3%                     |
| 全 体    | 154 園・校  | 159 園・校  | ＋ 5 校 | 27.4%                    |

※加盟率は、山口県内の幼稚園・保育園及び学校数を分母として算出

#### ②活動助成

県下の加盟校が青少年赤十字の実践目標「健康・安全、奉仕、国際理解・親善」及び態度目標「気づき、考え、実行する」に基づく学校単位で行う地域活動・研修等に対して、開催経費の一部助成を行いました。

#### 【平成30年度の助成状況】

| 区 分     | 助成件数 | 助 成 金 額     |
|---------|------|-------------|
| 幼稚園・保育園 | 4 件  | 70,000 円    |
| 小 学 校   | 39 件 | 780,000 円   |
| 中 学 校   | 6 件  | 110,000 円   |
| 高 等 学 校 | 4 件  | 281,963 円   |
| 計       | 53 件 | 1,241,963 円 |

※活動内容は、宿泊学習等のリーダー研修や地域清掃・環境美化活動等の奉仕活動、地域での交流活動等となります。

※活動する児童・生徒数により上限 3 万円までの金額

#### (2) 指導体制の充実

県教育委員会や加盟園・校の指導者で組織する指導者協議会の支援を得て、今後の活動充実と活性化を図るための協議・研修を行いました。

また、日赤本社が主催する協議会・研究会、他県支部主催の研修会に指導者を派遣しました。

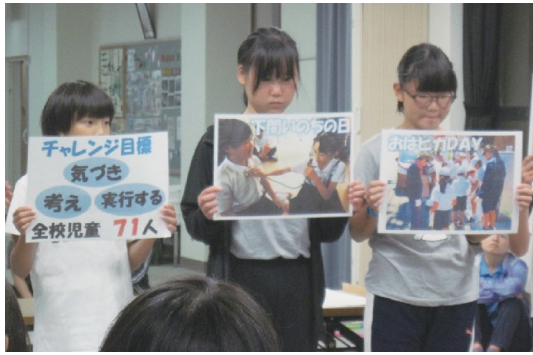
| 会議・研修名                            | 実施時期        | 会 場                 | 参加者数 |
|-----------------------------------|-------------|---------------------|------|
| 山口県高等学校指導者協議会幹事会                  | 5月18日       | 日赤山口県支部             | 13人  |
| 青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会 | 5月25日～27日   | 国立オリンピック記念青少年総合センター | 2人   |
| 山口県青少年赤十字高等学校指導者協議会校長会            | 6月1日        | カリエンテ山口             | 37人  |
| 山口県青少年赤十字幼保・小・中学校指導者協議会園長・校長会     | 6月14日       | カリエンテ山口             | 86人  |
| 青少年赤十字全国指導者協議会総会・研修会              | 6月28～29日    | 日本赤十字社本社            | 2人   |
| 広島県青少年赤十字指導者研修会                   | 6月30日～7月30日 | 日赤広島県支部             | 2人   |
| 青少年赤十字研究会                         | 1月9～10日     | 日本赤十字社本社            | 2人   |
| 合 計                               |             | 7回                  | 144人 |

### (3) メンバーの育成と資質の向上

各学校や地域における青少年赤十字活動の中核となる児童・生徒のリーダー養成研修を行いました。また、高等学校では、県を4地区に分け、その地区ごとに企画される地区トレーニング・センターを実施しました。

#### 【メンバー対象リーダー養成研修】

| 研修名                         | 実施時期     | 会 場            | 参加者数                       |
|-----------------------------|----------|----------------|----------------------------|
| 高等学校中部地区リーダーシップ・トレーニング・センター | 6月16日    | 山口県立西京高等学校     | 中部地区<br>メンバー53人<br>指導者 13人 |
| 高等学校東部地区リーダーシップ・トレーニング・センター | 7月28日    | 下松市地域交流センター    | 東部地区<br>メンバー47人<br>指導者 14人 |
| 高等学校南部地区リーダーシップ・トレーニング・センター | 8月7日     | 宇部市総合福祉会館      | 南部地区<br>メンバー50人<br>指導者 10人 |
| 高等学校西部地区リーダーシップ・トレーニング・センター | 8月10～11日 | 下関市立青年の家       | 西部地区<br>メンバー57人<br>指導者 7人  |
| 高等学校リーダーシップ・トレーニング・センター     | 8月2～4日   | 国立山口徳地青少年自然の家  | メンバー20人<br>指導者 14人         |
| 小学校リーダーシップ・トレーニング・センター      | 8月8～10日  | 山口県十種ヶ峰青少年自然の家 | メンバー33人<br>指導者 15人         |
| 中学校リーダーシップ・トレーニング・センター      | 8月10～12日 | 山口県十種ヶ峰青少年自然の家 | メンバー23人<br>指導者 12人         |
| 青少年赤十字スタディー・センター            | 3月22～26日 | 山梨県 東照館        | 高校生メンバー 2人<br>指導者 1人       |
| 合 計                         |          | 8回             | 371人                       |



小学校



中学校



高等学校



#### (4) 高等学校メンバーの活動

高等学校では、県下加盟校全体で組織する協議会を中心に活動の企画・協議が行われています。今年度の全体テーマは「JRCの輪を広げよう!」とし、学校単位だけでなく、同じ地区内の学校同士が合同で学校の枠を超えた交流学习・活動を行いました。

| 活動内容                                                 | 実施時期             | 会 場              | 対象・人数                      |
|------------------------------------------------------|------------------|------------------|----------------------------|
| 世界赤十字デー県下一斉<br>ボランティア・サービス<br>(清掃、環境美化、福祉施設<br>訪問活動) | 5月8日を中心<br>とした時期 | 県下加盟高校校区等        | 高校生徒<br>・指導者<br>35校 1,389人 |
| 山口県高等学校<br>青少年赤十字学習交流会                               | 8月18日            | 山口県赤十字<br>血液センター | 高校生徒<br>・指導者<br>65人        |
| 山口県高等学校<br>青少年赤十字協議会総会                               | 9月15日            | カリエンテ山口          | 高校生徒<br>・指導者<br>81人        |



## （５）国際交流事業

国際理解・親善を实践する活動の一つとして、大韓赤十字社蔚山広域市支社との間で、平成28年度から４ヵ年計画で青少年赤十字メンバーの相互交流事業を実施しています。

平成30年度は、中高校生を対象に互いの国の文化や歴史を学び、生活を体験しながら友情を育み、互いの青少年赤十字活動について情報交換をしました。

また、隔年開催する本社主催の国際交流集會に、高校生代表メンバーを派遣しました。

### ①山口・韓国蔚山広域市青少年赤十字国際交流事業

#### 【平成30年度の交流内容】

○受入：中学生２人、高校生４人、引率者４人（指導教師３人・支社職員１人）、４泊５日  
（期間）平成30年８月１日～５日

- ・ １日 来日（福岡空港着）、歓迎セレモニー
- ・ ２日 血液センター見学、大内塗箸作り体験、美祢市観光
- ・ ３日 高校リーダーシップ・トレーニング・センター（～４日）
- ・ ４日 ホームビジット
- ・ ５日 帰国（福岡空港発）

○派遣：中学生２人、高校生５人、引率者４人（指導教師３人・支部職員１人）、４泊５日  
（期間）８月８日～12日

- ・ ８日 出発（福岡空港発）
- ・ ９日 R C Y仲良しキャンプ、蔚山支社での交流プログラム
- ・ 10日 R C Y仲良しキャンプ、蔚山支社での交流プログラム
- ・ 11日 ホームビジット
- ・ 12日 帰国（福岡空港着）



## ②青少年赤十字国際交流集会 J R C / R C Y

### I n t e r n a t i o n a l M e e t i n g T o k y o 2018

アジア・大洋州の20の国や地域から来日した40名の青少年赤十字・赤新月メンバーと日本全国の青少年赤十字高校生メンバー37名が一堂に会し、相互に意見交換するとともに赤十字活動や各国の文化紹介を行う日赤本社主催の交流事業に代表者1名が参加しました。

| 会場                  | 実施時期       | 参加者   |
|---------------------|------------|-------|
| 国立オリンピック記念青少年総合センター | 11月22日～25日 | 高校生1名 |

## (6) 赤十字講習・プログラム活用の推進

未来を担う子どもたちに、防災教育プログラム（再掲）や健康・安全のための講習会、専門職員による出前授業を行いました。

| 講習内容                                      | 実施時期   | 会 場              | 対象・人数             |
|-------------------------------------------|--------|------------------|-------------------|
| 「いのち」の大切さについて<br>(看護師講話)                  | 4月13日  | 下関市立関西小学校        | 全校児童<br>71人       |
| 防災学習（大雨災害・防災ボランティアについて）                   | 5月27日  | 山口県立<br>下関南高等学校  | 西部地区高校生<br>部員107人 |
| 福祉体験学習（高齢者疑似体験、車椅子試乗・介助体験）                | 6月16日  | 山口県立<br>徳山商工高等学校 | 東部地区高校生<br>部員36人  |
| A E D、防災学習（災害救護、避難所で役立つ知識）                | 6月16日  | 山口県立西京高等学校       | 中部地区高校生<br>部員53人  |
| 「がん」について（看護師講話）                           | 7月5日   | 萩市立須佐中学校         | 1～3年生<br>12人      |
| 応急手当（三角巾包帯法）<br>防災学習（非常食炊出し、非常持ち出しリュック作成） | 7月28日  | 下松市<br>地域交流センター  | 東部地区高校生<br>部員57人  |
| A E D、防災学習（非常食炊出し・大雨災害について）               | 8月11日  | 下関市立青年の家         | 西部地区高校生<br>部員57人  |
| 防災学習（豪雨災害、防災ボランティアについて）                   | 8月22日  | 宇部市総合福祉会館        | 南部地区高校生<br>部員60人  |
| 癒しのハンドケア（高齢者施設訪問のための実技指導）                 | 10月2日  | 山口市立湯田小学校        | 5、6年生<br>20人      |
| 防災学習（地震災害について）                            | 10月5日  | 山口市立白石小学校        | 5年生<br>118人       |
| 福祉体験学習<br>（高齢者の理解・疑似体験）                   | 10月31日 | 山口県立<br>宇部商業高等学校 | 1年生<br>133人       |
| 防災学習（災害の備え、非常持ち出しリュック作り）                  | 11月4日  | 岩国市立装港小学校        | 5、6年生<br>23人      |
| 防災学習（赤十字の災害救護、災害からいのちを守るために）              | 11月9日  | 岩国市立通津小学校        | 全校児童<br>230人      |
| 救命手当、防災学習（災害の備えについて）                      | 11月13日 | 下松市立中村小学校        | 5年生<br>43人        |

|                                |        |           |             |
|--------------------------------|--------|-----------|-------------|
| 防災学習（災害時の備えや自分たち<br>にできる事について） | 11月29日 | 下関市立宇賀小学校 | 全校児童<br>30人 |
| 国際理解学習（赤十字国際活動と私<br>たちができる支援）  | 12月19日 | 美祢市立厚保中学校 | 全校生徒<br>36人 |
| 合 計                            |        | 16回       | 1,086人      |

#### （７）赤十字・青少年赤十字シンボルツリー「イトスギ」の植樹事業

赤十字思想普及のため、県内加盟園・校等に青少年赤十字の支援組織である山口県青少年赤十字賛助奉仕団がイトスギの苗を育て、植樹する活動は、4年目を迎えました。

今年度は、「山口ゆめ花博」会場内の2050年の森ゾーン内に40本の苗木を会場近くの加盟園メンバー達とともに盛大に植樹行事を実施しました。

| 実施時期   | 場 所                       | 参加者                                                                              |
|--------|---------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 10月30日 | 山口きらら博記念公園内<br>2050年の森ゾーン | 阿知須幼稚園児 46名・指導者 5名、<br>賛助奉仕団員 10名、<br>山口県支部副支部長、<br>山口県日赤紺綬有功会副会長、<br>山口県支部職員 5名 |



## 4 国際活動

日本赤十字社は、国際赤十字の有力な一員として、赤十字国際委員会及び赤十字・赤新月社連盟の要請により、地域紛争や自然災害による犠牲者を救援するため、医療要員の派遣を始めとして、医薬品や食料等の救援物資を送るなど、さまざまな救援活動を行っています。

#### （１）発展途上国開発援助（アジア・大洋州「給水・衛生」キット支援事業）

中国・四国各県支部との共同事業として、洪水やサイクロンなどの災害に対し、現地で給水・衛生活動が展開できるよう、「給水・衛生キット」の開発・配備に対して継続的な資金援助を行いました。

##### 【助成金額】

| 平成29年度   | 平成 30 年度  | 前年対比  |
|----------|-----------|-------|
| 764,399円 | 749,236 円 | 98.0% |

## (2) 海外救援金の募集

### ①NHK海外たすけあい

1983年から日本赤十字社とNHKが共同で実施している募金キャンペーンで、海外の紛争や災害等で苦しんでいる人々を支援するために、今年度も12月1日から25日の間、募金の受付を行いました。

#### 【募集件数および募集金額】

|     |       | 平成 27 年度    | 平成 28 年度    | 平成 29 年度    | 平成 30 年度    |
|-----|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 総 額 | 件数    | 1,717 件     | 1,529 件     | 1,808 件     | 2,306 件     |
|     | 金額    | 5,920,989 円 | 5,687,141 円 | 5,907,215 円 | 6,505,425 円 |
| 内 訳 | 募金箱   | 件数          | 1,083 件     | 965 件       | 1,235 件     |
|     | 街頭募金等 | 金額          | 792,031 円   | 841,439 円   | 810,149 円   |
|     | ダイレクト | 件数          | 634 件       | 564 件       | 573 件       |
|     | メール   | 金額          | 5,128,958 円 | 4,845,702 円 | 5,097,066 円 |
|     |       |             |             |             | 5,715,743 円 |

### ②その他の救援金

世界各国の赤十字社・赤新月社を通じて被災国の赤十字社に寄せられる「海外救援金」は、被災国の赤十字社が行う被災者支援活動に役立てられます。平成30年度も被災国の赤十字社からの依頼に基づいた救援金を募集しました。

| 救 援 金 区 分               | 件 数 | 金 額      |
|-------------------------|-----|----------|
| 中東人道危機救援金               | 2件  | 1,010円   |
| バングラデシュ南部避難民救援金         | 12件 | 31,236円  |
| 2018年インドネシア・ロンボク島地震救援金  | 3件  | 19,353円  |
| 2018年インドネシア・スラウェシ島地震救援金 | 4件  | 27,225円  |
| 2019年モザンビークサイクロン救援金     | 1件  | 45,000円  |
| 無指定                     | 1件  | 2,430円   |
| 合 計                     | 20件 | 126,254円 |

## (4) 安否調査

各国赤十字は、ジュネーブ条約に基づき、赤十字国際委員会の調整のもと、捕虜や行方不明者に関する情報収集や通常の通信手段が途絶えた家族間の安否調査を実施しています。

## 5 赤十字奉仕団による活動

赤十字奉仕団は、赤十字の理念である人道的な諸活動を実践するため、地域や活動の分野ごとに結成されたボランティア組織であり、その活動は、赤十字運動の普及にかかせないものです。

当支部では、奉仕団相互の連携強化を図るとともに、活動の中心となるボランティアリーダーを育成し、活動の充実に向けた体制強化を図りました。

また、各奉仕団がそれぞれ円滑な活動を展開できるよう、情報交換や連絡調整を図るための会議や各種研修会等を開催しました。

【山口県の奉仕団結成状況】

| 奉仕団の種類    |             | 団数   | 団員（登録者）数 | 特 色                                                                      |
|-----------|-------------|------|----------|--------------------------------------------------------------------------|
| 地域奉仕団     |             | 44 団 | 10,258 人 | 主として、市町の婦人会組織等。一定の地域ごとに結成され、赤十字の思想普及、活動資金募集、災害時の救護活動支援等、地域に密着した活動を行っている。 |
| 青年（学生）奉仕団 |             | 3 団  | 68 人     | 青年や学生で組織され、献血推進や社会福祉施設の訪問等の活動を行っている。                                     |
| 特殊奉仕団     | 安全奉仕団       | 1 団  | 156 人    | 救急法・水上安全法・幼児安全法の指導員で結成され、県民の健康と安全を守るための講習会の指導を行っている。                     |
|           | アマチュア無線奉仕団  | 1 団  | 93 人     | アマチュア無線免許保有者で結成され、非常災害時において通信網を確保し、正確かつ迅速な情報の収集と伝達を行うことを目的に活動している。       |
|           | 青少年赤十字賛助奉仕団 | 1 団  | 65 人     | 青少年赤十字活動の普及や加盟促進を目的に活動しており、青少年赤十字の指導経験者や、目標に賛同された方で組織されている。              |
|           | 災害救護奉仕団     | 2 団  | 124 人    | 災害時に赤十字が実施する救護活動に協力することや、平時に防災思想の普及を図ることを目的に組織されている。                     |
| 合 計       |             | 52 団 | 10,764 人 |                                                                          |

（１）赤十字奉仕団相互の連携強化

①赤十字奉仕団支部委員会の開催

地域奉仕団、青年（学生）奉仕団、専門技能を持つ特殊奉仕団の委員長で構成される赤十字奉仕団支部委員会を開催し、情報交換や相互の連携強化に向けて意見交換を行いました。

| 名 称            | 実施時期     | 会 場     | 参加者                |
|----------------|----------|---------|--------------------|
| 赤十字奉仕団山口県支部委員会 | 5 月 29 日 | カリエンテ山口 | 地域・特殊奉仕団委員長<br>5 人 |

②赤十字奉仕団相互の連携強化

赤十字事業を県内全域へと広げるため、地域と密着した活動をしている地域奉仕団を中心に、青年（学生）奉仕団、専門技能を持つ特殊奉仕団の連携を促進しました。

【奉仕団別の連携事業】

| 奉仕団名             | 地域奉仕団との連携事業             |
|------------------|-------------------------|
| 青 年（ 学 生 ） 奉 仕 団 | 献血推進や社会福祉施設の訪問          |
| 安 全 奉 仕 団        | 県内全域での救急法等講習会指導・受講促進    |
| アマチュア無線奉仕団       | 通信訓練及び県・市町防災訓練への参加      |
| 青少年赤十字賛助奉仕団      | J R C 未加盟校への加盟促進        |
| 災 害 救 護 奉 仕 団    | 県内全域での防災講習会指導・防災減災意識の向上 |

## （２）ボランティアリーダーの育成

各奉仕団の中からボランティア活動の中心となるボランティアリーダーを育成し、活動の更なる充実・拡大を図りました。

### ○全奉仕団

| 研 修 名             | 実施時期         | 会 場                 | 参加者数                |
|-------------------|--------------|---------------------|---------------------|
| 赤十字ボランティア・リーダー研修会 | 8月<br>25～27日 | 東京都国立オリンピック<br>センター | 2名<br>(地域1、<br>特殊1) |

### ○地域奉仕団

| 研 修 名              | 実施時期        | 会 場     | 参加者数 |
|--------------------|-------------|---------|------|
| 山口県赤十字奉仕団中堅団員研修会   | 10月16日      | カリエンテ山口 | 65人  |
| 中国・四国ブロック赤十字奉仕団研修会 | 11月<br>7～8日 | 鳥取県庁    | 2人   |



山口県赤十字奉仕団中堅団員研修会

### ○青年（学生）奉仕団

| 研 修 名                      | 実施時期  | 会 場     | 参加者数 |
|----------------------------|-------|---------|------|
| 山口県青年（学生）赤十字奉仕団<br>リーダー研修会 | 2月13日 | 日赤山口県支部 | 21人  |

## （３）各奉仕団の活動

### ○地域奉仕団

| 会 議 名              | 実施時期  | 会 場     | 参加者数                   |
|--------------------|-------|---------|------------------------|
| 山口県赤十字奉仕団<br>委員長会議 | 5月29日 | カリエンテ山口 | 地域奉委員長・<br>地区・分区担当者74人 |

地域奉仕団では、主な活動として、5月の赤十字運動月間に合わせ、毎年県下一斉ボランティアを実施しています。平成30年度は30を超える奉仕団が活動し、赤十字エプロンやワッペン、奉仕団旗を掲げながら、地域の清掃や炊き出し訓練、献血の呼びかけ等を行いました。



## ○青年（学生）奉仕団

| 会 議 名                           | 実施時期        | 会 場              | 参加者数 |
|---------------------------------|-------------|------------------|------|
| 中国・四国ブロック青年赤十字奉仕団<br>連絡協議会代表者会議 | 6月<br>2日～3日 | 広島県赤十字<br>血液センター | 2人   |
| 山口大学学生赤十字奉仕団年末総会                | 12月19日      | 山口大学図書館          | 18人  |
| 山口大学学生赤十字奉仕団新年総会                | 1月16日       | 山口大学図書館          | 12人  |
| 山口県青年（学生）赤十字奉仕団総会               | 3月28日       | 山口県赤十字<br>血液センター | 19人  |
| 山口県立大学学生赤十字奉仕団総会                | 3月28日       | 山口県赤十字<br>血液センター | 13人  |

| 研 修 名                    | 実施時期           | 会 場       | 参加者数 |
|--------------------------|----------------|-----------|------|
| 中国・四国ブロック青年赤十字<br>奉仕団研修会 | 8月31日<br>～9月2日 | 香川県青年センター | 4人   |

今年度は、献血時やイベント等献血推進の協力や、高齢者福祉施設への訪問、海外たすけあい募金をはじめとした活動を行いました。



## ○安全奉仕団

| 会 議 名          | 実施時期  | 会 場                   | 参加者 |
|----------------|-------|-----------------------|-----|
| 山口県赤十字安全奉仕団総会  | 4月7日  | カリエンテ山口               | 97人 |
| 山口県赤十字安全奉仕団役員会 | 2月24日 | 総合病院山口赤十字<br>病院管理棟会議室 | 11人 |

## 各講習会における安全奉仕団員の協力回数

|          | 講習回数（団員協力／全講習数） | 協力団員（実人数） |
|----------|-----------------|-----------|
| 救急法      | 294回／325回       | 98人       |
| 水上安全法    | 43回／44回         | 21人       |
| 健康生活支援講習 | 5回／29回          | 1人        |
| 幼児安全法    | 36回／42回         | 19人       |

## ○アマチュア無線奉仕団

| 会 議 名                   | 実施時期  | 会 場     | 参加者 |
|-------------------------|-------|---------|-----|
| 山口県赤十字アマチュア無線奉仕団総会      | 4月8日  | 日赤山口県支部 | 33人 |
| 山口県赤十字<br>アマチュア無線奉仕団役員会 | 3月10日 | 日赤山口県支部 | 12人 |

| 研修名及びクラブ局運用             | 実施時期  | 会 場                  | 参加者数 |
|-------------------------|-------|----------------------|------|
| 山口県赤十字アマチュア無線奉仕団<br>研修会 | 4月8日  | 日赤山口県支部              | 29人  |
| 第1回クラブ局運用               | 6月17日 | 山口市（山口県総合<br>防災訓練会場） | 9人   |
| 第2回クラブ局運用               | 3月10日 | 日赤山口県支部              | 26人  |

そのほか、全国の赤十字アマチュア無線奉仕団との通信訓練を、20回行いました。



#### ○青少年赤十字賛助奉仕団

| 会 議 名                                 | 実施時期          | 会 場     | 参加者数                |
|---------------------------------------|---------------|---------|---------------------|
| 全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会                    | 7月<br>5～6日    | 日赤本社    | 1人                  |
| 山口県青少年赤十字賛助奉仕団総会                      | 8月21日         | 日赤山口県支部 | 13人                 |
| 中国・四国ブロック青少年赤十字<br>賛助奉仕団連絡協議会・研修会打合会議 | 9月21日         | 日赤山口県支部 | 7人                  |
| 中国・四国ブロック青少年赤十字<br>賛助奉仕団連絡協議会・研修会     | 10月<br>11～12日 | セントコア山口 | 9人<br>(他県団員)<br>22人 |



中国・四国ブロック青少年赤十字賛助奉仕団連絡協議会・研修会

#### ○災害救護奉仕団

| 会 議 名         | 実施時期  | 会 場     | 参加者数 |
|---------------|-------|---------|------|
| 山口県赤十字防災奉仕団総会 | 4月15日 | 日赤山口県支部 | 38人  |

| 研 修 名                                          | 実施時期         | 会 場     | 参加者数       |
|------------------------------------------------|--------------|---------|------------|
| 山口県赤十字防災奉仕団研修会                                 | 4月15日        | 日赤山口県支部 | 38人        |
| 防災教育指導者養成研修会                                   | 6月<br>16～18日 | 日赤本社    | 1人<br>職員1人 |
| 第2回山口県防災奉仕団研修会<br>(兼赤十字防災ボランティア<br>フォローアップ研修会) | 12月8日        | 日赤山口県支部 | 11人        |

今年度は、県内各地の防災講習に30回のべ81人の団員の協力をいただきました。



## 6 赤十字思想の普及

### (1) 広報活動

#### ①赤十字運動月間キャンペーン

平成29年度から変更された社員制度の定着および会員の増強に向けて、4～5月にかけて地区区分の協賛委員会等で制度の改正についての説明を実施し、活動資金および会員募集促進を図りました。また、レッド・ライトアップ・プロジェクトやイベントを実施するとともに、県内のテレビ・ラジオでのCM放映や、新聞広告などにより、日赤の活動をPRしました。

#### 1) レッド・ライトアップ・プロジェクト

多くの人々に「人道の大切さ」について考え、理解を深めていただくきっかけとして、5月の赤十字運動月間に各地の公共・民間施設を赤色に灯す運動を平成28年度から全国一斉に実施しています。

3年目となる今年度も、夜空に浮かぶ赤十字色の灯りが、過去の震災や被災地で苦しんでいる人を「忘れない、風化させない」という想いにつながることを願って、県内の2施設に協力をいただき、世界赤十字デー（5月8日）を中心とした期間にライトアップを実施しました。

#### 【ライトアップ実施施設】

| 協 力 先       | 場 所      | 期 間           |
|-------------|----------|---------------|
| 山口県国際総合センター | 海峡ゆめタワー  | 平成30年5月7日～9日  |
| 三宅商事        | 三宅商事本社ビル | 平成30年5月1日～31日 |



## 2) イベントの開催

| イベント名                      | 実施時期  | 場 所             | 内 容                                         |
|----------------------------|-------|-----------------|---------------------------------------------|
| 一日赤十字と看護の日<br>ふれあいフェスタ2018 | 5月13日 | おのだサンパーク        | 親子で救急法体験、防災パネル掲示、赤十字なりきり救護員制服記念撮影会、各種身体測定ほか |
| レノファ山口FC<br>イベント           | 5月27日 | 下関市営<br>下関陸上競技場 | 避難所で配布する救援物資等の展示、親子で救急法体験、救護員制服記念撮影会        |



一日赤十字



レノファ山口FCイベント

## 3) マスメディアによるPR

赤十字運動月間を広く県民に周知し支援をお願いするため、テレビやラジオ、新聞による広報を行いました。

### ◆テレビ・ラジオCM

- ・テレビ（山口放送、テレビ山口、山口朝日放送）15秒CM
- ・ラジオ（FM山口、山口放送）20秒CM

### ◆新聞広告（山口新聞、中国新聞）

## ②広報資材の作成・配布

県内全域へ赤十字事業・活動を報告するため、広報誌を年2回発行しました。また、県支部設立130周年を記念し、広報誌特別号「山口県支部のあゆみと災害救護の記録」を作成し、個別事業の報告のためのパンフレットと併せて、関係者および協力先へ配布しました。

| 広報資材名             | 発行時期    | 発行部数     | 配布・設置先                        |
|-------------------|---------|----------|-------------------------------|
| 赤十字やまぐち2018秋号     | H30年10月 | 343,000部 | 各地区分区（原則各戸配布）、講習受講者、赤十字サポーター他 |
| 赤十字やまぐち2019春号     | H31年3月  | 431,000部 |                               |
| 山口県支部のあゆみと災害救護の記録 | H30年4月  | 65,000部  | 各地区分区（班回覧）、講習受講者、赤十字サポーターほか   |
| JRCトピック           | 適時（年3回） | 1,000部／回 | JRC加盟校他                       |
| 奉仕団だより            | 適時（年3回） | 600部／回   | 奉仕団員、各地区分区                    |

### ③マスメディアを通じた情報発信

県内における赤十字活動を広く県民に知ってもらうため、プレスリリースを発出してテレビ局や新聞社からの取材を促進し、報道へと繋げました。

#### 【報道件数】

| テレビ | 新聞  |
|-----|-----|
| 15件 | 77件 |

### ④ホームページ・SNSによる情報発信

主に若年層の支持者を増やすために、引き続きホームページとフェイスブックで写真や動画を活用した目に見える活動報告を行いました。

### ⑤赤十字イベントの開催

赤十字施設がない地域の方にも、事業への理解・協力を促すため、血液センターと合同で初の「赤十字ふれあいミニフェスタ2018」を下関市で開催。防災講習・クイズ、赤十字癒しのハンドケア、防災・減災啓発パネルおよび救援物資の展示などを行いました。



## （２）企業・団体とのタイアップによるCSR活動の普及

### ①赤十字サポーター

平成25年度から実施している赤十字サポーター制度では、法人のCSR活動を促進するために、赤十字活動資金への継続的な支援と、企業・団体の事業内容に沿った赤十字事業への協力という要件を満たした企業・団体を、赤十字サポーターとして認定しています。平成30年度は3法人を認定し、合計で11法人となりました。

平成30年度も、活動資金への協力をはじめ、救急法競技大会の賞品提供や赤十字思想の普及や献血推進のための景品の提供等、日赤の事業に対して様々なご支援をいただきました。

【平成30年度赤十字サポーター認定法人】

| 社 名        | 所在地 | 認定日  | 支 援 協 力 内 容                         |
|------------|-----|------|-------------------------------------|
| エイム        | 宇部市 | 4月1日 | 寄付つき自動販売機の設置、保有施設での赤十字広報協力、組織的な献血推進 |
| ホテル西長門リゾート | 下関市 | 6月1日 | 寄付つき自動販売機および募金箱の設置、保有施設での赤十字広報協力    |
| 宇部流通サービス   | 宇部市 | 6月1日 | 寄付つき自動販売機の設置、保有施設での赤十字広報協力          |

〈サポーター認定式の様子〉



エイム



ホテル西長門リゾート



宇部流通サービス

〈提供いただいた物品〉



献血推進等の景品  
西京銀行 (ACT SAIKYO)



救急法競技大会の賞品等  
西京銀行、丸久、三宅商事、  
コープやまぐち、宇部流通サービス



イトスギ植樹記念品  
丸久

②レノファ山口とのパートナーシップ協定に基づく取組の充実

平成28年3月に締結したパートナーシップ協定の内容に基づき、平成29年度は以下の相互協力を行いました。

【赤十字⇒レノファ】

| 実施項目                                    | 実施時期          | 備考（会場・内容等）                                          |
|-----------------------------------------|---------------|-----------------------------------------------------|
| ホームゲーム救護所要員としてのボランティア救護員の派遣（各試合3名・23試合） | 4～11月<br>2～3月 | 山口維新百年記念公園陸上競技場<br>および下関市陸上競技場<br>赤十字病院の看護師等（延べ68人） |
| 救急法等講習会の実施                              | 2月2日          | レノファ山口FCのボランティア団体<br>「TeamBONDS」への救急法講習実施           |
| 広報協力                                    | 適 時           | 保有施設でポスター等の掲示                                       |

【レノファ⇒赤十字】

| 実施項目      | 実施時期 | 備考（会場・内容等）     |
|-----------|------|----------------|
| 献血イベントの実施 | 年3回  | ホームゲームへの献血バス配車 |
| 広報協力      | 適時   | 保有施設でポスター等の掲示  |



TeamBONDS救急法講習会



レノファ山口FCホームゲーム献血

(3) 表彰

活動資金の協力や赤十字事業の進展に尽くされた方に表彰を行いました。

(平成31年3月末現在)

| 表彰区分 |                  |    | 表彰基準                    | 個人<br>(人) | 法人<br>(社／団体) | 合計  |
|------|------------------|----|-------------------------|-----------|--------------|-----|
| 活動資金 | 社長感謝状            |    | 金色有功章受章後<br>(累計) 50万円以上 | 3         | 1            | 4   |
|      | 有功章              | 金色 | (累計) 50万円以上             | 6         | 5            | 11  |
|      |                  | 銀色 | (累計) 20万円以上             | 5         | 41           | 46  |
|      | 支部長表彰状<br>支部長感謝状 |    | (累計) 10万円以上             | 31        | 115          | 146 |
|      | 特別社員章            |    | (累計) 2 万円以上             | 17        | 77           | 94  |
|      | 小 計              |    |                         | 62        | 239          | 301 |
| 献血者  | 有功章              | 金色 | 献血回数100回以上              | 50        |              | 50  |
|      |                  | 銀色 | 献血回数 70回以上              | 89        |              | 89  |
|      | 小 計              |    |                         | 139       |              | 139 |
| 合 計  |                  |    |                         | 201       | 239          | 440 |

○表彰伝達式

社長感謝状及び金色有功章の受章者の方には、支部長から賞状や有功章を直接伝達しました。

(日程) 平成31年1月24日(木)

(会場) ホテルニュータナカ



## 7 赤十字活動資金の確保

日赤の事業は、独立採算となる医療事業・血液事業以外は、全て県民の皆様からお寄せいただく活動資金が拠りどころですが、少子高齢化が加速し、地域社会が変容していく中、近年減少傾向が続いております。平成30年度は、西日本豪雨災害による法人からの大口支援があったことや、地区・分区や奉仕団との連携を強化し、一般・法人対策を推進したため、前年並みの実績を確保できましたが、依然として2億円を切る厳しい状況が続いております。

### 【平成30年度の活動資金募集状況】

| 区分 | 平成30年度目標   | 平成30年度実績   | 平成29年度実績   | 昨年対比   |
|----|------------|------------|------------|--------|
| 一般 | 209,000 千円 | 176,126 千円 | 180,547 千円 | 97.6%  |
| 法人 | 20,000 千円  | 19,478 千円  | 16,277 千円  | 119.7% |
| 合計 | 229,000 千円 | 195,605 千円 | 196,824 千円 | 99.4%  |

### (1) 一般対策

#### ①地区分区との連携

赤十字運動月間での募集に先立って、地区分区で開催される協賛委員会や自治会長集会等へ支部職員や地区分区担当職員が出席し、毎年の協力に対する感謝を伝えるとともに、活動資金の実情を説明して募集活動への協力をお願いしました。

### 【地区分区の協賛委員会等】

| 行 事 名                     | 開 催 時 期    |
|---------------------------|------------|
| 日本赤十字社下関市地区代表協賛委員・分区長合同会議 | 平成30年4月6日  |
| 日本赤十字社山陽小野田市協賛委員会         | 平成30年4月18日 |
| 日赤光市地区分区長会議               | 平成30年4月18日 |
| 日本赤十字社下松市地区協賛委員会          | 平成30年4月25日 |
| 日本赤十字社防府市地区協賛委員会春季定期総会    | 平成30年4月26日 |
| 自治会長集会（下関市・山口市）           | 平成30年4月～5月 |
| 日本赤十字社宇部市地区協賛委員会          | 平成31年5月25日 |

#### ②広報誌を活用した募集

赤十字やまぐち2018秋号において、振込用紙を付けて発行・配布したところ、100件を超える新規の応諾がありました。

### 【応諾実績】

| 件数    | 金額          |
|-------|-------------|
| 105 件 | 2,079,862 円 |

### (2) 法人対策

#### ①ダイレクトメールによる募集

年3回発送（5月・10月・1月）のダイレクトメールにより、法人に対して活動資金の募集を行いました。また、1月発送時に、新たに医療法人へ739件DMを発送し、62件の応諾を得ました。

【平成30年度実績】

|         | 発送数     | 応諾数     | 応諾率    | 協力金額         |
|---------|---------|---------|--------|--------------|
| 5月 発送分  | 3,358 件 | 1,031 件 | 30.7%  | 10,658,400 円 |
| 10月 発送分 | 603 件   | 105 件   | 17.4%  | 991,000 円    |
| 1月 発送分  | 138 件   | 29 件    | 21.0%  | 247,000 円    |
| 新規分     | 739 件   | 62 件    | 8.4%   | 845,000 円    |
| 合計      | 4,838 件 | 1,227 件 | 25.36% | 12,741,400 円 |

【発送条件】

| 発送月  | 条 件                                    |
|------|----------------------------------------|
| 5 月  | 過去に1度でも納入のあった法人（3,358 法人）              |
| 10 月 | 5月発送分の未応諾法人のうち、過去5年以内で活動資金に協力いただいている法人 |
| 1 月  | 5月、10月未応諾法人のうち、前年度に活動資金に協力いただいている法人    |

②訪問による募集

表彰対象法人及び年額5万円以上協力いただいた法人に対して、表彰品、受領書を直接お届けして感謝の意をお伝えするとともに、赤十字事業についての説明をさせていただき、今後のさらなる協力をお願いしました。

③赤十字サポーター制度の普及（再掲）

C S R に積極的な企業・団体に対して、寄付つき自動販売機や募金箱の設置等をお願いし、赤十字サポーター制度の普及を推進しました。その結果、寄付つき自動販売機3台を新たに設置していただくことができました。

（3）多様な活動資金納入方法の周知

支部では、窓口払いや銀行振り込み以外にも、口座振替やクレジットカード払い、コンビニ払い、ネット銀行決済等様々な協力方法を整えています。本年度も、広報誌やホームページ等で紹介し、活動資金への協力促進を図りました

（4）遺贈・相続による寄付の獲得

当支部が遺贈・相続財産による寄付受け入れ団体であることを周知するために、作成したパンフレットを関係団体に配布しました。また、山口県日赤紺綬有功会の会員を主な対象として、行政書士による終活セミナーを開催し、50人を超える県民に受講いただきました。

## 8 医療事業

日本赤十字社は、全国に91の病院を有していますが、そのうち62の赤十字医療施設が、地域の中で災害医療活動を行う医療機関を支援する「災害拠点病院」として指定を受けており、地域における災害医療活動の中核を担っています。

また、医療救護体制を常時整えており、国内外で災害や紛争が発生したときには速やかに医療チームの派遣を行っています。

県内では、2つの病院を運営し、地域の特性に合わせて、こども急病センター、訪問看護

ステーション、老人保健施設や在宅介護支援センターを整備し、医療活動を通じて住民の健康と福祉の向上を図っています。

## (1) 山口赤十字病院

### ①病院機能の充実・強化

#### ア チーム医療の推進

NST（栄養サポートチーム）やRST（呼吸サポートチーム）、糖尿病透析予防指導、糖尿病合併管理などの既存の医療チームの活動の強化を図るとともに、抗菌薬適正使用支援チームなど新たなチーム医療の実施に積極的に取り組んでいます。また、糖尿病透析予防指導チームは山口市の糖尿病性腎症重症化予防事業にも参加しています。

#### イ 入退院支援機能の充実（訪問看護ステーションとの連携を含む）

入退院支援センターを核として入院患者の円滑な入・退院を支援するとともに、訪問看護ステーションなどと連携を図りながら、退院後もより安全なそして安定した在宅療養ができるように支援することで、地域包括ケアの一翼を担っています。また、診療報酬の改定により、入院時支援加算や小児加算の施設基準を取得しました。

#### ウ リハビリテーション提供体制の拡充・強化

廃用症候群を予防し、早期のADL向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもとに発症後早期から積極的なリハビリテーションを実施しています。

#### エ 薬剤指導業務の充実（病棟薬剤師配置等）

医療の質の向上と医師等の業務負担軽減を目的に病棟への薬剤師の配置を進め、全病棟一定時間以上の薬剤師配置、病棟薬剤業務実施加算の維持及び薬剤管理指導件数の増加・質向上を図っています。また、手術室での業務拡大にも取り組んでいます。

#### オ 高度医療機器の共同利用の推進

医療機器の効率的活用による画像診断、生理機能検査への積極的対応及び検診業務との連携強化、適切・必要な検査による病態診断の向上を図るとともに、医療機器の有効活用や地域の医療機関の診断支援を行うために高度医療機器の共同利用を積極的に進めています。

#### カ 食事指導業務の充実

入院患者に対し病態に対応した安全で治療効果の上がる特別食の提供に努めています。疾病の予防・回復、健康の維持・増進に役立つ栄養指導を入院・外来患者に対し積極的に実施しています。

#### キ 特定行為研修を行う指定研修機関の指定

厚生労働省より特定行為（医師・歯科医師が予め作成した手順により実施できる行為）が実施できる看護師を育成する機関として指定されています。

#### ク 医師事務作業補助者の増員

医師の負担軽減のため、医師事務作業補助者を増員しました。（医師事務作業補助体制加算の施設基準 40対1→30対1（8月）、30対1→25対1（2月）の取得）

#### ケ 事業継続計画（BCP）の策定

緊急事態時の対応力向上のため事業継続計画（BCP）を策定しました。

#### コ 乳腺炎重症化予防ケア・指導料の施設基準を取得

周産期医療の取組みのひとつとして、乳腺炎重症化予防ケア・指導料の施設基準を取得しました。

#### サ 救急搬送看護体制加算の施設基準を取得

救急病院として円滑な救急患者受入れ対応を図るため、救急搬送看護体制加算の施設基準を取得しました。

シ 許可病床数の変更

休床中の南4階病棟を廃止し、病床数を475床から427床に減床しました。

ス 電子カルテを含めた院内情報基盤の構築

平成31年3月に電子カルテシステムの運用を開始しました。

②医療安全の推進

良質な医療サービスを提供する上での最重要課題である医療安全を確保するため、医療安全管理のための職員研修などに病院全体で取り組んでいます。

また、地域における医療安全を進めるため、医療安全対策地域加算の施設基準を取得しました。

③経営の安定化

ア 収益向上対策

地域医療連携の強化による紹介患者や救急患者の確保及び効果的なベッドコントロールなどを通じて新規入院患者を増やしています。また、平成28年度に取得した夜間看護体制加算（16対1）や病棟薬剤業務実施加算、地域医療支援病院入院診療加算に加え新たな加算取得の検討や効率性係数などDPCの各種係数アップ、既存の管理・指導料などの算定率向上対策に努め、診療単価のアップを目指していきます。さらに、未収金の発生を未然に防止するとともに、発生した未収金の早期回収に取り組むとともに、債権額の的確な把握に努め、迅速に適切な対応を図っています。

イ 費用の適正化

経費節減に努め、材料費、委託料などの適正化を図り、各々の費用の医業収益に対する比率が現状以下に抑えられるようにするとともに、適正な職員配置により労働生産性の向上に努めています。また、患者負担の低減や経費の削減、さらにはDPC機能評価係数Ⅱの後発医薬品係数の維持を目指し、後発医薬品の採用を進めています。

ウ 経営管理機能の強化

各種経営情報の一元管理を行い、経営課題を抽出し、戦略的な業務運営を行います。また、経営管理機能の強化を図るため、パフォーマンス指標により経営課題ごとに対策と数値目標を定め、PDCAサイクルの進行管理による評価・改善に努めています。

④地域への貢献

ア 地域医療機関等との連携強化による紹介患者の確保と退院調整機能の強化

紹介患者の積極的な受入れや診療所への効果的な訪問などを行う地域連携体制の整備を行うとともに、地域連携パスの運用強化や退院支援・退院調整機能の強化を図り、地域医療支援病院の地位を確立していきます。また、当院ホームページ内に登録医療機関紹介サイトを構築しました。

イ 地域の医療機関との連携による高度医療機器等の有効活用

地域医療支援病院として、地域の医療機関の効果的な診断を支援するため、当院の高度医療機器等の共同利用を進めています。

ウ 地域の医療従事者の資質向上支援

地域医療支援病院として、地域の医療従事者の資質向上を支援するため、当院において地域医療従事者向け研修会を計画的に開催しています。

エ 広報の充実、マーケティング活動の展開、患者満足度の向上

平成25年3月に採用したマスコットキャラクターの活用も図りながら、知っちょる会における市民講座の開催や体験学習など、地域との触れ合い活動を推進しています。

す。

・第16回知っちょる会 11月18日（日）

ひざの健康セミナーを萩で開催

・出張知っちょる会「赤十字健康生活支援講座」

4月18日（水） 大内小野公民館

5月17日（木） 吉敷大橋会館

5月24日（木） 白石中学校

7月9日（月） 社協秋穂出張所

8月7日（火） 徳地関公会堂

8月24日（金） 社協南部支所（小郡）

9月6日（木） 徳地地域交流センター

9月14日（金） 佐山ハビテーション 自治会館

10月10日（水） 大内地域交流センター

10月15日（月） 宮野河原公会堂

11月7日（水） 小鯖地域交流センター

12月20日（木） 宮野地域交流センター

また、地域の先生と当院をつなぐ冊子「やまクロcross」の定期的な発行や定期訪問を継続して行っています。

## （2）小野田赤十字病院

### ①診療機能等の強化（医療機器等の更新）

ア 入院・外来患者及び健診受診者への適切な治療と医療事故防止のため、セントラルモニター（患者監視装置）を更新しました。

イ 入院・外来患者及び健診受診者の適切な診断や治療のため、手持眼圧計を更新しました。

ウ 老人保健施設入所者の快適な食事環境を提供するため、適温配膳車を配備しました。

エ 医療従事者の感染防止・安全対策及び医師の負担軽減のため、細菌検査室と薬剤部にバイオハザード対策用キャビネットを設置しました。

オ 医療情報の早期集計及び病院運営への活用のため、医療情報分析支援システムを設置しました。

### ②医療安全の向上

ア 医療安全の意識の向上を図るため、インシデント・アクシデントレポートの集計と分析を委員会や会議で毎月報告し、職員に伝達するとともにレベル3a以上の評価を1か月後に各部署で行っています。また、医療安全ニュースの発行やレベル0報告から「あなたの気づきに感謝です」という褒めるメッセージニュースも作成し各部署に配布しました。

イ 医療安全意識と安全文化の醸成を図るため、5S活動を各部署で取り組み成果発表会を行いました。マニュアル改訂をした説明会を「輸血療法委員会」「感染委員会」「医療機器安全管理対策作業部会」が合同で行いました。医療安全研修として「医療ガスの取り扱いについて」「医療機関における個人情報保護法への対応」を全職員に向けて実施しました。また、経験年数別や職種別で「人工呼吸器のKYT」「正しい薬剤投与について」の研修も行いました。

ウ 医療安全推進週間では、緊急時対応訓練を看護・コメディカル共同で実施し、院内救急コールも訓練放送をしました。他に外来患者向けに、「インフルエンザ」「肺炎

ワクチン」のパンフレットを作成し配布しました。各部署ではポスターの掲示や部署別研修を行うとともに、5S活動強化に向けた院内ラウンドを行いました。

- エ 院内感染防止のため、感染報告を医療安全管理者が取りまとめ感染対策委員会と共に行動しています。平成30年度は一部署からインフルエンザ感染があり、臨時感染対策委員会の実施、フェーズ別対策で院内職員のマスク対応・同室患者・同部署スタッフへの予防投与を行ない、一定数のアウトブレイクでとどまりました。

### ③経営の安定化

#### ア 診療報酬・介護報酬改定に対応した施設基準の取得

診療報酬改定により、加算額が大幅に増加する一方で適用条件も大変厳しくなった療養病床在宅復帰機能強化加算を対象拡大（40床→80床）の上、取得することができました。また、老健あんじゅの在宅復帰・在宅療養支援機能の強化等に努め、12月に基本型から介護報酬額の高い加算型へ移行することができました。

#### イ 常勤医師の確保

9月から常勤医師1名を雇用し、常勤医が不在の内科に配置しました。

#### ウ 本社協議を踏まえた経営健全化計画の実施

7月に本社から重点支援病院に指定されたため、4月からスタートした経営健全計画の実施について、本社と協議しながら進めています。協議の中で、計画にある緩和ケア病棟への転換については、着手を見送ることとなり、まずは訪問看護ステーションの開設など在宅復帰支援機能を強化することとなりました。

#### エ 入院患者の確保

地域の診療所を定期的に訪問し、当院の特長等をPRするとともに、空きベッドの情報を適時提供しています。また、診療所との連携を行う上での課題や対策を話し合う地域連携会議を開催しています。

### ④救護訓練・研修会・行事への参加

#### ア 7月26日（木）～29日（日）、広島県安芸郡坂町における「西日本豪雨災害救護活動」に対し、救護班1個班を派遣しました。

#### イ 平成31年2月16日（土）～18日（月）に兵庫県で行われた「全国赤十字救護班研修会」に看護師1名を派遣しました。

#### ウ 平成31年3月21日（木・祝）に山口市で行われた「日本赤十字社山口県支部災害救護訓練」に救護班1個班を派遣しました。

#### エ 県内で行われた各種行事に対し、けがや傷病者救護のため看護師を派遣しました。

- ・山陽小野田市：須恵東運動会・・・看護師1名・主事1名
- ・やけの美タフェスタ・・・看護師1名
- ・宇部空港にぎわいフェスタ・・・看護師1名
- ・宇部市：原校区運動会・・・看護師2名・主事1名
- ・下関市：ツールドしものせき・・・看護師5名
- ・角島海岸清掃・・・看護師1名
- ・全国産業教育フェア・・・看護師4名
- ・全国中途失聴者・難聴者福祉大会・・・看護師2名

### ⑤地域住民へのPR・啓発及び研修活動

ホームページや広報誌を充実し、当院の情報をより解りやすく、より早く伝えていくこととしております。また、地域密着型病院として、地域住民に対して積極的な啓発活動等

を行いました。

ア 一日赤十字と看護の日ふれあいフェスタ2018

5月におのだサンパークで、ストレス度測定や体脂肪測定等を行いました。

イ 納涼祭

8月に地域住民の皆様と病院の入院患者及び老人保健施設あんじゅの入所者のふれあいの場である納涼祭を開催しました。

また、当日のバザーの売り上げ（25,750円）は、支部を通じて「平成30年7月 大雨災害義援金」に募金しました。

ウ その他の行事等

11月に「第8回 介護の日」のイベントを開催し、認知症予防対策の講演、簡単にできる認知症予防体操、大正琴の演奏等を行いました。

5月以降、院長が地域の公民館（本山公民館及び須恵公民館）に出向き、赤十字ボランティア活動の一環として、「健康講座」の講演を公民館ごとに4回行いました。

（3）本年度の診療状況

| 区 分   |       | 山口赤十字病院   | 小野田赤十字病院 |
|-------|-------|-----------|----------|
| 病 床 数 |       | 427 床     | 132 床    |
| 外来患者数 | 延 べ 数 | 168,177 人 | 17,630 人 |
|       | 一日平均  | 692.1 人   | 72.6 人   |
| 入院患者数 | 延 べ 数 | 130,856 人 | 45,901 人 |
|       | 一日平均  | 358.5 人   | 125.8 人  |

## 9 看護師の養成

将来、県内の赤十字施設で就業する意思がある看護師等の資格取得を目指す学生の就学支援を目的に、奨学金貸与制度を運用し、看護師等の養成を行っています。

## 10 血液事業

日本赤十字社は、病気やけがで苦しみ、血液製剤を必要とする患者さんのために、安全な血液製剤を安定的にお届けするという使命を担い、血液事業に取り組んでいます。

(1) 献血状況

①種別献血者数

| 種 別      |          | 献血者数(人) | 前年度比(%) | 前年度差(人) |
|----------|----------|---------|---------|---------|
| 全血<br>献血 | 400mL 献血 | 40,563  | 104.1   | 1,579   |
|          | 200mL 献血 | 494     | 85.9    | ▲ 81    |
| 成分<br>献血 | 血小板成分献血  | 4,215   | 80.7    | ▲ 1,009 |
|          | 血漿成分献血   | 2,819   | 84.2    | ▲ 527   |
| 献血者数合計   |          | 48,091  | 99.9    | ▲ 38    |

ア 献血者数は、前年度比99.9%、38人の減少。山口センター献血ルームのリニューアルの定着及び移動献血車1稼働当りの増加によりほぼ前年度並みの献血者数を維持出来た。

イ 血漿成分献血のうち、2,733人は分画製剤用原料血漿として採血。

②施設別献血者数

| 施設     | 献血者数<br>(人) | 占有率<br>(%) | 前年度比<br>(%) | 前年度差<br>(人) | 1 稼働献血者数     |
|--------|-------------|------------|-------------|-------------|--------------|
| 血液センター | 10,609      | 22.1       | 127.7       | 2,300       | 34.8 (+ 5.2) |
| 移動採血車  | 37,482      | 77.9       | 109.2       | 3,147       | 52.8 (+ 5.3) |

ア 血液センターの1稼働献血者数は、34.8人(前年度より5.2人増)

イ 移動採血車の献血者数は、3,147人の増。(稼働台数は、年間710台 前年度より4台減)

※下関ルームについては、平成29年12月末で閉所。

③年代別(10代～30代)献血者状況

| 年代別        | 計画数    | 30 年度<br>献血者数 | 29 年度<br>献血者数 | 前年度差  | 前年度比  | 計画比   |
|------------|--------|---------------|---------------|-------|-------|-------|
| 16 歳～ 19 歳 | 1,690  | 2,051         | 2,007         | 44    | 102.2 | 121.4 |
| 20 歳～ 29 歳 | 5,398  | 6,073         | 5,997         | 76    | 101.3 | 112.5 |
| 30 歳～ 39 歳 | 7,459  | 7,758         | 7,876         | ▲ 118 | 98.5  | 104.0 |
| 計          | 14,547 | 15,882        | 15,880        | 2     | 100.0 | 109.2 |

ア 10代から30代の若年層の献血者は、15,882人で前年度比100.0%、2人の微増。

イ 10代及び20代は、大学への移動採血車の配車を増加させ、前年度を上回った。

ウ 30代は、減少し続けており効果的な対策がなく歯止めがかからない状況である。

## (2) 血液製剤の供給状況

### ①製剤別供給数

|       | 供給本数   | 前年度比 (%) | 前年度差 (本数) |
|-------|--------|----------|-----------|
| 全血製剤  | 10     | 1000.0   | 9         |
| 赤血球製剤 | 40,060 | 101.5    | 600       |
| 血小板製剤 | 8,203  | 101.8    | 148       |
| 血漿製剤  | 10,475 | 102.0    | 207       |
| 計     | 58,748 | 101.7    | 964       |

ア 平成30年度は、総数で前年度比101.7%、全ての製剤で供給数が微増。

イ 赤血球製剤は対前年度比101.5%、血小板製剤は対前年度比101.8%とほぼ前年度並みの供給だった。供給上位の医療機関において重症の患者が重なり、一時的に供給量が増加した。

ウ 血漿製剤は、血漿交換による使用が多く特に県内の50%の供給を占める2医療機関において対前年度比118.5%であった。

エ 供給した医療機関数：134施設

## (3) 収支状況

### ①事業収益

事業収益は、1,556,807千円（予算比105.2% 前年度比101.8%）

要因としては、輸血用血液製剤の供給量が年間を通じて当初予測を上回ったことによる。

(単位：千円)

|          | 30年度決算額   | 30年度予算額   | 予算比 (%) | 29年度決算額   | 前年比 (%) |
|----------|-----------|-----------|---------|-----------|---------|
| 血液製剤供給収益 | 1,556,496 | 1,479,378 | 105.2   | 1,528,055 | 101.9   |
| その他の事業収益 | 311       | 332       | 96.6    | 508       | 61.2    |
| 計        | 1,556,807 | 1,479,710 | 105.2   | 1,528,563 | 101.8   |

### ②事業費用

事業費用は、1,065,520千円（予算比97.0% 前年度比90.4%）

人件費が大幅に減少したのは、職員定数を見直したためである。材料費及び経費が予算を越えたのは、献血数の増加により採血キットや処遇品等の費用が増加したためである。なお、対前年比については、全ての費用において減少した。

(単位：千円)

|       | 30年度決算額   | 30年度予算額   | 予算比 (%) | 29年度決算額   | 前年比 (%) |
|-------|-----------|-----------|---------|-----------|---------|
| 人 件 費 | 621,419   | 687,391   | 90.4    | 656,447   | 94.7    |
| 材 料 費 | 221,709   | 219,110   | 101.2   | 232,349   | 95.4    |
| 経 費   | 222,392   | 191,653   | 116.0   | 289,779   | 76.8    |
| 計     | 1,065,520 | 1,098,154 | 97.0    | 1,178,575 | 90.4    |

#### (4) 献血協力者を確保するための主な取り組み

##### ①献血運動推進強調月間等におけるイベント等の開催

- ・13市における「愛の血液助け合い運動」イベントの開催
- ・地区献血協議会（8地区）における「はたちの献血」キャンペーンの開催
- ・学生献血推進協議会主催による「七夕献血」、「中四国学生統一献血」キャンペーン「クリスマス献血」キャンペーンの開催

##### ② 若年層献血者確保対策

###### ア 高校献血（卒業献血）及び大学（専門学校含む）献血の実施

- ・高校献血：502人（前年度比92.9% 38人減）  
実施校：15校（公立9校 私立6校 実施率19.2%）
- ・大学献血：2,278人（前年度比111.0% 226人増）  
15校（大学11校 専門学校等4校 延べ41回）

###### イ 「献血セミナー」「キッズ献血（疑似献血）」の拡充

- ・献血セミナー参加者数：1,922人
- ・キッズ献血参加者数：165人

###### ウ 小学生親子赤十字一日体験教室の開催（8/7～9）

- ・参加者数：124人（小学5・6年生、保護者）

###### エ 「レノファ山口」とのタイアップ事業

- ・ホームゲーム献血の開催：3回 献血者数207人

###### オ 「LINE」の運用による献血情報の発信

- ・登録人数：317人

##### ③WEB（ラブラット）会員登録の拡充（旧複数回献血者クラブ会員）

- ・クラブ会員数：10,353人（H31.3月末）
- ・平成30年度新規登録者数：1,084人（目標数563人、達成率192.5%）

#### (5) 血液センターのリニューアルについて

下関市に開設していた献血ルームを平成29年12月末で閉所し、山口市の血液センターに移転・統合し、『やまぐち献血ルーム For you』として平成30年3月20日、リニューアルオープンした。

平成30年度は、若年層を中心に献血ルームを知ってもらうために各種イベントを開催した。

- ・5月12日 母の日ハーバリウム作り体験教室
- ・8月17日～18日 献血ルーム夏まつり
- ・1月26日～27日 冬の献血ルームまつり
- ・3月23日 1周年記念餅つき大会 等々

結果、献血者数が10,609人となり8年ぶりに1万人を突破した。

## 11 評議員会及び監査

### (1) 評議員会

評議員会を次のとおり開催し、いずれの議案も原案どおり承認された。

#### ①第1回評議員会〔平成30年6月8日（金）於：KKRあさくら〕

- 議案第一号 平成29年度日本赤十字社山口県支部事業報告について
- 議案第二号 平成29年度一般会計歳入歳出決算について
- 議案第三号 平成29年度医療施設特別会計歳入歳出決算について
- 議案第四号 監査委員の選出について
- 報告事項 平成29年度血液センターにおける事業概要について  
山口赤十字病院の病棟建替について  
小野田赤十字病院の経営健全化について  
バングラデシュでの国際活動について

#### ②第2回評議員会〔平成31年1月24日（木）於：ホテルニュータナカ〕

- 議案第一号 平成31年度日本赤十字社山口県支部事業計画について
- 議案第二号 平成31年度一般会計歳入歳出予算について
- 議案第三号 平成31年度医療施設特別会計歳入歳出予算について
- 議案第四号 平成30年度医療施設特別会計歳入歳出補正予算について
- 議案第五号 副支部長の選出について
- 議案第六号 代議員の選出について
- 議案第七号 監査委員の選出について
- 報告事項 平成31年度血液センターにおける事業概要について  
平成30年7月豪雨災害に係る日本赤十字社の対応について

### (2) 監査

監査委員による平成29年度支部一般会計及び各施設特別会計の歳入歳出決算監査を下記日程で実施しました。

|               |              |
|---------------|--------------|
| 平成30年5月24日（木） | 山口赤十字病院      |
| 平成30年5月25日（金） | 小野田赤十字病院     |
| 平成30年5月28日（月） | 日本赤十字社山口県支部  |
|               | 山口県赤十字血液センター |

# 資 料 編



## 日本赤十字社山口県支部役員

令和元年6月1日現在

| 役 職 名   | 氏 名     | 備 考       |
|---------|---------|-----------|
| 支 部 長   | 村 岡 嗣 政 | 山口県知事     |
| 副 支 部 長 | 弘 中 勝 久 | 山口県副知事    |
| 副 支 部 長 | 市 川 熙   | 山口県市長会会長  |
| 支 部 参 与 | 平 屋 隆 之 | 山口県総務部長   |
| 支 部 参 与 | 中 野 恵   | 山口県健康福祉部長 |
| 支 部 参 与 | 繁 吉 健 志 | 山口県副教育長   |
| 監 査 委 員 | 池 内 英 之 |           |
|         | 吉 田 正 治 |           |
| 本 社 理 事 | 藤 家 幸 子 | 本社代議員     |
| 本社代議員   | 原 昌 克   |           |
|         | 西 川 公 博 |           |
|         | 徳 田 文 範 |           |

## 日本赤十字社山口県支部評議員

| 氏 名       | 選出区分       | 氏名      | 選出区分        |
|-----------|------------|---------|-------------|
| 川 久 保 賢 隆 | 支 部 長      | 藤 谷 允 子 | 岩国市地区       |
| 中 繁 尊 範   | 支 部 長      | 堀 江 泰   | 岩国市地区       |
| 古 川 英 希   | 支 部 長      | 西 川 公 博 | 光 市 地 区     |
| 岩 野 雅 子   | 支 部 長      | 竹 林 敏 子 | 長門市地区       |
| 藤 家 幸 子   | 支 部 長      | 嬉 静 恵   | 柳井市地区       |
| 矢 野 郷 士   | 下関市地区      | 弘 利 眞 勝 | 美祢市地区       |
| 中 司 征 満   | 下関市地区      | 久 野 三砂子 | 周南市地区       |
| 中 野 リエ子   | 宇部市地区      | 佐久田 美智枝 | 周南市地区       |
| 徳 田 文 範   | 宇部市地区      | 岡 本 志 俊 | 山陽小野田市地区    |
| 原 昌 克     | 山口市地区      | 椎 木 巧   | 東部地区周防大島町分区 |
| 井 上 美代子   | 山口市地区      | 飯 富 重 幸 | 東部地区和木町分区   |
| 大 島 昌 子   | 萩・阿武地区（萩市） | 中 田 佳代子 | 東部地区上関町分区   |
| 広 石 聖     | 防府市地区      | 平 井 洋 子 | 東部地区田布施町分区  |
| 坪 郷 久 榮   | 防府市地区      | 松 浦 美 香 | 東部地区平生町分区   |
| 市 川 正 紀   | 下松市地区      | 花 田 憲 彦 | 萩・阿武地区（阿武町） |

# 地区・分区担当窓口一覧

平成31年3月現在

| 地区・分区 | 担当部課                   | 〒        | 住 所                         | 電話番号         | FAX番号        |
|-------|------------------------|----------|-----------------------------|--------------|--------------|
| 下 関 市 | 総務部 防災危機管理課            | 750-8521 | 下関市南部町 1-1                  | 083-231-9333 | 083-231-9966 |
| 菊 川   | 地域政策課 総務防災係            | 750-0313 | 下関市菊川町田部 734-1 下関市菊川総合支所    | 083-287-1112 | 083-287-2739 |
| 豊 田   | 地域政策課 総務防災係            | 750-0421 | 下関市豊田町大字殿敷 1918-1 下関市豊田総合支所 | 083-766-1051 | 083-766-2683 |
| 豊 浦   | 地域政策課 総務防災係            | 759-6301 | 下関市豊浦町大字川棚 6895-1 下関市豊浦総合支所 | 083-772-0612 | 083-774-3305 |
| 豊 北   | 地域政策課 総務防災係            | 759-5592 | 下関市豊北町大字滝部 3140-1 下関市豊北総合支所 | 083-782-0063 | 083-782-1717 |
| 宇 部 市 | 健康福祉部 地域福祉・指導監査課 福祉相談係 | 755-8601 | 宇部市常盤町 1-7-1                | 0836-34-8325 | 0836-22-6028 |
| 山 口 市 | 健康福祉部 地域福祉課 地域福祉担当     | 753-8650 | 山口市亀山町 2-1                  | 083-934-2790 | 083-934-5087 |
| 徳 地   | 総合サービス課 健康福祉担当         | 747-0292 | 山口市徳地堀 1744 山口市徳地総合支所       | 0835-52-1121 | 0835-52-0760 |
| 秋 穂   | 総合サービス課 健康福祉担当         | 754-1101 | 山口市秋穂東 6570 山口市秋穂総合支所       | 083-984-8023 | 083-984-8041 |
| 小 郡   | 総合サービス課 健康福祉担当         | 754-8511 | 山口市小郡下郷 609-1 山口市小郡総合支所     | 083-973-8131 | 083-974-4387 |
| 阿 知 須 | 総合サービス課 健康福祉担当         | 754-1292 | 山口市阿知須 2743 山口市阿知須総合支所      | 0836-65-4114 | 0836-65-5188 |
| 阿 東   | 総合サービス課 健康福祉担当         | 759-1512 | 山口市阿東徳佐中 3417-2 山口市阿東総合支所   | 083-956-0794 | 083-956-0680 |
| 萩 市   | 保健福祉部 福祉政策課 地域福祉係      | 758-8555 | 萩市大字江向 510                  | 0838-25-3550 | 0838-25-5103 |
| 川 上   | 市民窓口部門                 | 758-0141 | 萩市川上 4462-1 萩市川上総合事務所       | 0838-54-2121 | 0838-54-2430 |
| 田 万 川 | 市民窓口部門                 | 759-3112 | 萩市大字下田万 1036 萩市田万川総合事務所     | 0838-72-0300 | 0838-72-0303 |
| む つ み | 市民窓口部門                 | 758-0304 | 萩市大字吉部上 3191-1 萩市むつみ総合事務所   | 0838-86-0211 | 0838-86-0760 |
| 須 佐   | 市民窓口部門                 | 759-3411 | 萩市大字須佐 4570-5 萩市須佐総合事務所     | 08387-6-2016 | 08387-6-3406 |
| 旭     | 市民窓口部門                 | 754-0411 | 萩市大字明木 3174 萩市旭総合事務所        | 0838-55-0211 | 0838-55-0217 |
| 福 栄   | 市民窓口部門                 | 758-0212 | 萩市大字福井下 4013-1 萩市福栄総合事務所    | 0838-52-0121 | 0838-52-0262 |
| 防 府 市 | 健康福祉部 社会福祉課 社会係        | 747-8501 | 防府市寿町 7-1                   | 0835-25-2349 | 0835-25-2549 |
| 下 松 市 | 社会福祉協議会                | 744-0022 | 下松市大字末武下 617-2              | 0833-41-2242 | 0833-41-2330 |
| 岩 国 市 | 健康福祉部 社会課 管理班          | 740-8585 | 岩国市今津町 1-14-51              | 0827-29-5070 | 0827-22-0181 |
| 由 宇   | 市民福祉課 福祉班              | 740-1428 | 岩国市由宇町中央 1-1-10 岩国市由宇総合支所   | 0827-63-1113 | 0827-63-1160 |

|            |                   |          |                            |              |              |
|------------|-------------------|----------|----------------------------|--------------|--------------|
| 玖 珂        | 市民福祉課 福祉班         | 742-0392 | 岩国市政珂町 5990 岩国市政珂総合支所      | 0827-82-2513 | 0827-82-6139 |
| 本 郷        | 市民福祉課 市民福祉班       | 740-0602 | 岩国市本郷町本郷 2082-1 岩国市本郷総合支所  | 0827-75-2582 | 0827-75-2366 |
| 周 東        | 市民福祉課 福祉班         | 742-0492 | 岩国市周東町下久原 1209-1 岩国市周東総合支所 | 0827-84-1113 | 0827-84-4386 |
| 錦          | 市民福祉課 福祉班         | 740-0724 | 岩国市錦町広瀬 12-8 岩国市錦総合支所      | 0827-72-2112 | 0827-72-2120 |
| 美 川        | 市民福祉班             | 740-0502 | 岩国市美川町四馬神 1057 岩国市美川支所     | 0827-76-0311 | 0827-76-0863 |
| 美 和        | 市民福祉課 福祉班         | 740-1231 | 岩国市美和町生見 12126 岩国市美和総合支所   | 0827-96-1113 | 0827-96-1712 |
| 光 市        | 福祉保健部 福祉総務課 福祉総務係 | 743-0011 | 光市光井 2-2-1 あいぱーく光          | 0833-74-3000 | 0833-74-3070 |
| 長 門 市      | 市民福祉部 福祉課 地域福祉係   | 759-4192 | 長門市東深川 1339-2              | 0837-23-1245 | 0837-23-2061 |
| 日 置        | 地域窓口班             | 759-4401 | 長門市日置上 5914-3 長門市日置支所      | 0837-37-2111 | 0837-37-2567 |
| 三 隅        | 地域窓口班             | 759-3802 | 長門市三隅中 1473 長門市三隅支所        | 0837-43-0221 | 0837-42-0555 |
| 油 谷        | 地域窓口班             | 759-4503 | 長門市油谷新別名 964 長門市油谷支所       | 0837-32-1111 | 0837-32-2778 |
| 柳 井 市      | 健康福祉部 社会福祉課       | 742-8714 | 柳井市南町 1-10-2               | 0820-22-2111 | 0820-23-7566 |
| 美 祢 市      | 市民福祉部 地域福祉課 地域福祉係 | 759-2292 | 美祢市大嶺町東分 326-1             | 0837-52-5228 | 0837-52-1490 |
| 周 南 市      | 福祉医療部 地域福祉課       | 745-0032 | 周南市岐山通 1-1                 | 0834-22-8465 | 0834-22-8396 |
| 新 南 陽      | 健康福祉課             | 746-0034 | 周南市富田 1-1-1 周南市新南陽総合支所     | 0834-61-4113 | 0834-61-4242 |
| 熊 毛        | 市民福祉課             | 745-0663 | 周南市熊毛中央町 1-1 周南市熊毛総合支所     | 0833-92-0012 | 0833-92-0004 |
| 鹿 野        | 市民福祉課             | 745-0302 | 周南市大字鹿野上 3277 周南市鹿野総合支所    | 0834-68-2332 | 0834-68-2104 |
| 山陽小野田市     | 福祉部 社会福祉課 地域福祉係   | 756-8601 | 山陽小野田市市日の出 1-1-1           | 0836-82-1174 | 0836-81-5695 |
| 東 部        | 柳井健康福祉センター 総務課    | 742-0032 | 柳井市古開作中東条 658-1            | 0820-22-3631 | 0820-22-7286 |
| 周防大島町(旧橘町) | 健康福祉部 福祉課         | 742-2806 | 周防大島町大字西安下庄 3920-21        | 0820-77-5505 | 0820-77-5111 |
| 和 木 町      | 社会福祉協議会           | 740-0061 | 和木町和木 2-15-22              | 0827-52-8644 | 0827-53-2822 |
| 上 関 町      | 保健福祉課 社会福祉係       | 742-1402 | 上関町大字長島 583-1              | 0820-62-0184 | 0820-62-1541 |
| 田 布 施 町    | 町民福祉課 福祉係         | 742-1592 | 田布施町大字下田布施 3440-1          | 0820-52-5810 | 0820-52-5967 |
| 平 生 町      | 町民福祉課 地域福祉班       | 742-1195 | 平生町大字平生町 210-1             | 0820-56-7113 | 0820-56-5603 |
| 阿 武 町      | 社会福祉協議会           | 759-3622 | 阿武町大字奈古 3081-5             | 08388-2-2615 | 08388-2-3615 |

# 救急法等講習実施状況

平成31年3月31日現在

| 開催地<br>区分 | 救急法 |           | 水上安全法  |     |     | 雪上安全法 |     | 健康生活支援講習 |           | 幼児安全法 |           | 家庭あんま術 | 合 計    |
|-----------|-----|-----------|--------|-----|-----|-------|-----|----------|-----------|-------|-----------|--------|--------|
|           | 基礎  | 救急員<br>養成 | 短期     | 養成Ⅰ | 養成Ⅱ | 短期    | 養成Ⅰ | 養成Ⅱ      | 支援員<br>養成 | 短期    | 支援員<br>養成 |        |        |
| 下 関 市     | 1   | 1         | 22     |     |     |       |     |          |           |       | 3         |        | 27     |
| 宇 部 市     | 2   | 1         | 32     |     |     |       |     |          |           | 1     | 4         |        | 40     |
| 山 口 市     | 6   | 5         | 57     | 1   |     | 1     |     |          | 1         | 15    | 1         | 1      | 102    |
| 萩 市       | 1   | 1         | 14     |     |     |       |     |          |           |       | 3         |        | 19     |
| 防 府 市     |     |           | 14     |     |     | 1     |     |          |           | 1     | 3         | 1      | 20     |
| 下 松 市     |     |           | 10     |     |     |       |     |          |           |       |           |        | 10     |
| 岩 国 市     | 1   | 1         | 58     |     |     | 30    |     |          |           |       | 4         |        | 94     |
| 光 市       |     |           | 8      |     |     | 1     |     |          |           |       |           |        | 9      |
| 長 門 市     |     |           | 3      |     |     |       |     |          |           |       |           |        | 3      |
| 柳 井 市     |     |           | 11     |     |     | 4     |     |          |           | 2     | 2         |        | 19     |
| 美 祢 市     |     |           | 2      |     |     | 1     |     |          |           |       | 1         |        | 4      |
| 周 南 市     |     |           | 23     |     |     |       |     |          |           |       | 1         |        | 24     |
| 山陽小野田市    | 2   | 1         | 22     |     | 1   |       |     |          | 2         | 3     | 1         | 1      | 33     |
| 周防大島町     |     |           | 8      |     |     | 2     |     |          |           | 1     |           |        | 11     |
| 和 木 町     |     |           | 2      |     |     |       |     |          |           |       |           |        | 2      |
| 上 関 町     |     |           | 2      |     |     |       |     |          |           | 1     |           |        | 3      |
| 田 布 施 町   |     |           |        |     |     |       |     |          |           |       |           |        | 0      |
| 平 生 町     |     |           | 3      |     |     |       |     |          |           |       | 2         |        | 5      |
| 阿 武 町     |     |           | 2      |     |     | 1     |     |          |           |       |           |        | 3      |
| ※広島県大竹市   |     |           |        |     |     | 1     |     |          |           |       |           |        | 1      |
| 計         | 13  | 10        | 293    | 1   | 1   | 42    | 0   | 0        | 3         | 24    | 1         | 3      | 429    |
| 受講人数      | 233 | 157       | 11,781 | 11  | 11  | 1,852 | 0   | 0        | 38        | 1390  | 12        | 50     | 16,341 |

※山口県外での開催あり

# 赤十字奉仕団一覽表

◎地域奉仕団

平成31年3月現在

| 番号 | 奉仕団名         | 団員数 | 委員長名   | 結成年月日      |
|----|--------------|-----|--------|------------|
| 1  | 下関市赤十字奉仕団    | 595 | 草野 和子  | 昭和50年6月11日 |
| 2  | 下関市菊川赤十字奉仕団  | 83  | 林 幸子   | 昭和57年5月1日  |
| 3  | 下関市豊田赤十字奉仕団  | 56  | 三戸 恵子  | 平成2年5月2日   |
| 4  | 下関市豊北赤十字奉仕団  | 690 | 山戸 ミエ子 | 平成2年3月30日  |
| 5  | 宇部市赤十字奉仕団    | 292 | 中野 リエ子 | 平成21年5月15日 |
| 6  | 山口市赤十字奉仕団    | 280 | 松永 君子  | 昭和32年9月20日 |
| 7  | 山口市徳地赤十字奉仕団  | 146 | 蕨 昭子   | 昭和62年7月10日 |
| 8  | 山口市小郡赤十字奉仕団  | 130 | 井上 美代子 | 昭和62年4月1日  |
| 9  | 山口市阿知須赤十字奉仕団 | 160 | 上野 房枝  | 平成21年4月30日 |
| 10 | 山口市阿東赤十字奉仕団  | 350 | 貝森 澄代  | 平成6年5月1日   |
| 11 | 萩市赤十字奉仕団     | 180 | 山下 清子  | 昭和43年8月23日 |
| 12 | 萩市川上赤十字奉仕団   | 18  | 厚東 登子  | 平成9年9月1日   |
| 13 | 萩市江崎赤十字奉仕団   | 107 | 嶋田 恵子  | 平成9年10月20日 |
| 14 | 萩市小川赤十字奉仕団   | 8   | 鍛冶谷 由乃 | 平成9年10月20日 |
| 15 | 萩市むつみ赤十字奉仕団  | 69  | 田中 征子  | 平成8年4月1日   |
| 16 | 萩市須佐赤十字奉仕団   | 110 | 田村 光子  | 平成7年4月4日   |
| 17 | 萩市旭赤十字奉仕団    | 176 | 藤家 幸子  | 昭和55年9月1日  |
| 18 | 萩市福栄赤十字奉仕団   | 30  | 柴田 京子  | 平成9年4月1日   |
| 19 | 防府市赤十字奉仕団    | 352 | 坪郷 久榮  | 昭和36年4月13日 |
| 20 | 下松市赤十字奉仕団    | 534 | 古田 尊子  | 昭和32年4月1日  |
| 21 | 岩国市赤十字奉仕団    | 416 | 藤谷 允子  | 昭和56年2月1日  |
| 22 | 岩国市由宇町赤十字奉仕団 | 120 | 石原 明美  | 昭和53年8月3日  |
| 23 | 岩国市玖珂町赤十字奉仕団 | 163 | 永岡 公美子 | 平成7年4月1日   |
| 24 | 岩国市本郷町赤十字奉仕団 | 60  | 藤本 千壽恵 | 平成8年4月1日   |

| 番号 | 奉仕団名         | 団員数    | 委員長名    | 結成年月日       |
|----|--------------|--------|---------|-------------|
| 25 | 岩国市周東町赤十字奉仕団 | 200    | 藤井 チエ子  | 平成4年9月8日    |
| 26 | 岩国市美川町赤十字奉仕団 | 80     | 上村 康子   | 平成7年9月1日    |
| 27 | 岩国市美和町赤十字奉仕団 | 75     | 上尾 英子   | 平成9年1月31日   |
| 28 | 長門市赤十字奉仕団    | 182    | 深本 康子   | 昭和57年4月1日   |
| 29 | 長門市三隅赤十字奉仕団  | 13     | 竹林 敏子   | 平成9年2月17日   |
| 30 | 長門市日置赤十字奉仕団  | 135    | 小林 玉子   | 平成7年11月20日  |
| 31 | 長門市油谷赤十字奉仕団  | 204    | 嶋田 衣代   | 昭和56年4月1日   |
| 32 | 柳井市赤十字奉仕団    | 483    | 嬉 静恵    | 昭和29年10月1日  |
| 33 | 美祢市赤十字奉仕団    | 200    | 杉山 秋子   | 昭和48年9月1日   |
| 34 | 周南市徳山赤十字奉仕団  | 138    | 石田 睦子   | 昭和39年10月10日 |
| 35 | 周南市熊毛赤十字奉仕団  | 130    | 佐久田 美智枝 | 平成9年5月1日    |
| 36 | 周南市鹿野赤十字奉仕団  | 100    | 有國 美恵子  | 平成3年4月1日    |
| 37 | 山陽小野田市赤十字奉仕団 | 716    | 岡部 つや子  | 昭和35年4月1日   |
| 38 | 周防大島町赤十字奉仕団  | 67     | 中元 みどり  | 平成26年4月1日   |
| 39 | 和木町赤十字奉仕団    | 176    | 藤本 亮恵   | 平成7年9月1日    |
| 40 | 上関町赤十字奉仕団    | 530    | 中田 佳代子  | 昭和63年9月1日   |
| 41 | 田布施町赤十字奉仕団   | 694    | 平井 洋子   | 昭和63年9月1日   |
| 42 | 平生町赤十字奉仕団    | 771    | 松浦 美香   | 昭和63年9月1日   |
| 43 | 阿武町赤十字奉仕団    | 139    | 藤田 恒代   | 平成7年7月27日   |
|    | 合計 43 団      | 10,158 |         |             |

◎青年奉仕団

| 番号 | 奉仕団名           | 団員数 | 委員長名  | 結成年月日      |
|----|----------------|-----|-------|------------|
| 1  | 宇部青年赤十字奉仕団     | 11  | 徳田 文範 | 昭和39年4月1日  |
| 2  | 山口大学学生赤十字奉仕団   | 36  | 佐伯鴻太  | 昭和47年6月22日 |
| 3  | 山口県立大学学生赤十字奉仕団 | 21  | 川崎佳穂  | 平成29年2月15日 |
|    | 合計 3 団         | 68  |       |            |

◎特殊奉仕団

| 番号 | 奉仕団名             | 団員数 | 委員長名  | 結成年月日      |
|----|------------------|-----|-------|------------|
| 1  | 山口県赤十字安全奉仕団      | 156 | 大立 浩嗣 | 昭和60年4月5日  |
| 2  | 山口県赤十字アマチュア無線奉仕団 | 93  | 上利 雅幸 | 平成2年3月25日  |
| 3  | 山口県青少年赤十字賛助奉仕団   | 48  | 藏本 隆博 | 平成15年6月10日 |
| 4  | 岩国赤十字災害救護奉仕団     | 63  | 松井 謙治 | 平成15年7月22日 |
| 5  | 山口県赤十字防災奉仕団      | 61  | 藤本 浩志 | 平成18年4月22日 |
|    | 合計 5 団           | 421 |       |            |

◎個人ボランティア(山口、小野田赤十字病院)

| 番号 | 人数 |
|----|----|
| 1  | 91 |

# 山口県青少年赤十字加盟校(園)一覧表

平成31年3月末現在

## 1. 保育園

| 連番 | 保育園名  |
|----|-------|
| 1  | 清 華   |
| 2  | ひ ろ せ |
| 計  | 2園    |

幼保 18園  
 小学校 74校  
 中学校 28校  
 高等学校 38校  
 特別支援学校 1校  
 計 159園・校

## 2. 幼稚園

| 連番 | 幼稚園名  | 連番 | 幼稚園名        |
|----|-------|----|-------------|
| 1  | 岩 国 南 | 10 | 大 内         |
| 2  | 宮 野   | 11 | 秋 穂         |
| 3  | 吉 敷   | 12 | 山口県鴻城高等学校付属 |
| 4  | 平 川   | 13 | 阿 知 須       |
| 5  | 名 田 島 | 14 | 野田学園        |
| 6  | 二 島   | 15 | 藤村学園旭       |
| 7  | 鑄 銭 司 | 16 | 亀 山         |
| 8  | 仁 保   | 計  | 16園         |
| 9  | 小 鯖   |    |             |

## 3. 小学校

| 連番 | 小学校名  | 連番 | 小学校名     |
|----|-------|----|----------|
| 1  | 小 瀬   | 42 | 菊 川      |
| 2  | 御 庄   | 43 | 岐 山      |
| 3  | 藤 河   | 44 | 秋 月      |
| 4  | 杭 名   | 45 | 鼓 南      |
| 5  | 河 内   | 46 | 富 田 東    |
| 6  | 通 津   | 47 | 福 川      |
| 7  | 岩 国   | 48 | 大 河 内    |
| 8  | 装 港   | 49 | 大 殿      |
| 9  | 川 下   | 50 | 湯 田      |
| 10 | 愛 宕   | 51 | 良 城      |
| 11 | 由 西   | 52 | 平 川      |
| 12 | そ お   | 53 | 嘉 川      |
| 13 | 川 上   | 54 | 興 進      |
| 14 | 米 川   | 55 | 佐 山      |
| 15 | 修 成   | 56 | 仁 保      |
| 16 | 周 北   | 57 | 小 郡      |
| 17 | 美 和 東 | 58 | 柚 野 木    |
| 18 | 美 和 西 | 59 | 生 雲      |
| 19 | 和木町立  | 60 | 勝 間      |
| 20 | 柳井市立  | 61 | 右 田      |
| 21 | 伊 陸   | 62 | 新 田      |
| 22 | 柳 井 南 | 63 | 二 俣 瀬    |
| 23 | 田布施町立 | 64 | 重 安      |
| 24 | 平生町立  | 65 | 豊 田 前    |
| 25 | 下 松   | 66 | 秋 吉      |
| 26 | 久 保   | 67 | 秋芳桂花     |
| 27 | 公 集   | 68 | 名 池      |
| 28 | 豊 井   | 69 | 関 西      |
| 29 | 花 岡   | 70 | 清 末      |
| 30 | 中 村   | 71 | 山 の 田    |
| 31 | 米 川   | 72 | 小 串      |
| 32 | 東 陽   | 73 | 宇 賀      |
| 33 | 室 積   | 74 | 長門市立 浅 田 |
| 34 | 島 田   |    |          |
| 35 | 浅 江   |    |          |
| 36 | 光 井   |    |          |
| 37 | 周 防   |    |          |
| 38 | 塩 田   |    |          |
| 39 | 三 輪   |    |          |
| 40 | 岩 田   | 計  | 74校      |
| 41 | 東 荷   |    |          |

# 山口県青少年赤十字加盟校(園)一覧表

## 4. 中学校

| 連番 | 中学校名 |     | 連番 | 中学校名 |       |
|----|------|-----|----|------|-------|
| 1  | 岩国市立 | 岩 国 | 17 | 美祢市立 | 厚 保   |
| 2  |      | 川 下 | 18 |      | 於 福   |
| 3  |      | 灘   | 19 |      | 豊 田 前 |
| 4  | 和木町立 | 和 木 | 20 |      | 秋 芳   |
| 5  | 柳井市立 | 柳 井 | 21 | 下関市立 | 菊 川   |
| 6  |      | 大 畠 | 22 |      | 豊 北   |
| 7  | 周南市立 | 福 川 | 23 | 萩市立  | 越ヶ浜   |
| 8  | 山口市立 | 大 殿 | 24 |      | 須 佐   |
| 9  |      | 白 石 | 25 |      | 旭     |
| 10 |      | 湯 田 | 26 | 長門市立 | 三 隅   |
| 11 |      | 鴻 南 | 27 |      | 菱 海   |
| 12 |      | 平 川 | 28 | 阿武町立 | 阿 武   |
| 13 |      | 小 郡 |    |      |       |
| 14 | 防府市立 | 国 府 |    |      |       |
| 15 |      | 小 野 | 計  | 28校  |       |
| 16 | 宇部市立 | 黒 石 |    |      |       |

## 5. 高等学校

| 連番 | 高等学校名      |  | 連番 | 高等学校名          |  |
|----|------------|--|----|----------------|--|
| 1  | 岩国総合       |  | 21 | 中村女子           |  |
| 2  | 高 森        |  | 22 | 山口県鴻城          |  |
| 3  | 熊 毛 南      |  | 23 | 萩              |  |
| 4  | 光          |  | 24 | 萩 商 工          |  |
| 5  | 光 丘        |  | 25 | 宇部中央           |  |
| 6  | 聖 光        |  | 26 | 宇 部 西          |  |
| 7  | 華 陵        |  | 27 | 宇部商業           |  |
| 8  | 下松工業       |  | 28 | 宇部工業           |  |
| 9  | 徳 山        |  | 29 | 宇部鴻城           |  |
| 10 | 徳山高等学校鹿野分校 |  | 30 | 宇部フロンティア大学付属香川 |  |
| 11 | 新 南 陽      |  | 31 | 小 野 田          |  |
| 12 | 徳山商工       |  | 32 | 豊 浦            |  |
| 13 | 南陽工業       |  | 33 | 長 府            |  |
| 14 | 防 府        |  | 34 | 下 関 西          |  |
| 15 | 防 府 西      |  | 35 | 下 関 南          |  |
| 16 | 防府商工       |  | 36 | 響              |  |
| 17 | 高川学園       |  | 37 | 下 関 北          |  |
| 18 | 山 口        |  | 38 | 下関商業           |  |
| 19 | 山口中央       |  |    |                |  |
| 20 | 西 京        |  | 計  | 38校            |  |

## 6. 特別支援学校

| 連番 | 総合支援学校名 |
|----|---------|
| 1  | 山口南総合   |
| 計  | 1 校     |

# 日本赤十字社山口県支部現勢（平成30年度）

## ・ 赤十字基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性

### ・ 役員（H31.3末現在）

|       |      |
|-------|------|
| 支部長   | 村岡嗣政 |
| 副支部長  | 藤部秀則 |
| 副支部長  | 市川熙  |
| 監査委員  | 池内英之 |
| 監査委員  | 吉田正治 |
| 本社理事  | 藤家幸子 |
| 本社代議員 | 藤家幸子 |
|       | 原昌克  |
|       | 西川公博 |
|       | 徳田文範 |
| 評議員   | 30人  |

### ・ 会員（H31.3末現在）

|    |         |
|----|---------|
| 個人 | 735人    |
| 法人 | 1,500法人 |

### ・ 赤十字奉仕団

|     |         |
|-----|---------|
| 団数  | 52団     |
| 団員数 | 10,764人 |

### ・ 青少年赤十字

|         |         |
|---------|---------|
| 加盟校（園）数 | 18園141校 |
| メンバー数   | 27,021人 |

### ・ 救護・救援

|             |        |
|-------------|--------|
| 常備救護班       | 8班     |
| 救護要員総数      | 478人   |
| 救急車         | 4台     |
| 通信指令車       | 1台     |
| 災害救援車       | 4台     |
| 無線基地局       | 3局     |
| 無線移動局       | 55局    |
| NBC除染セット    | 1セット   |
| テント（パイプ組立式） | 21張    |
| エアーテント      | 1張     |
| 救援用毛布       | 1,000枚 |
| 緊急セット       | 1,140個 |
| 安眠セット       | 138個   |

### ・ 養成

|             |      |
|-------------|------|
| 救急法指導員      | 170人 |
| 水上安全法指導員    | 26人  |
| 幼児安全法指導員    | 79人  |
| 健康生活支援講習指導員 | 31人  |

### ・ 国際活動資金援助

|               |        |
|---------------|--------|
| アジア・大洋州給水支援事業 | 74.9万円 |
|---------------|--------|

### ・ 医療

|        |          |
|--------|----------|
| 病院     | 2施設      |
| 病床数    | 559床     |
| 患者延数   |          |
| 外来     | 185,807人 |
| （1日平均） | 764.7人   |
| 入院     | 176,757人 |
| （1日平均） | 484.3人   |

### ・ 老人保健施設

|              |      |
|--------------|------|
| 小野田赤十字老人保健施設 |      |
| 入所定員         | 100人 |
| 通所定員         | 30人  |

### ・ 血液

|          |          |
|----------|----------|
| 血液センター   | 1施設      |
| 出張所      | 2施設      |
| 移動採血車    | 4台       |
| 血液運搬車    | 19台      |
| 献血者数     | 48,091人  |
| 成分献血     | 7,034人   |
| 400ml献血  | 40,563人  |
| 200ml献血  | 494人     |
| 供給数 血液製剤 | 184,936本 |

### ・ 職員（正職員）

|          |      |
|----------|------|
| 支部       | 10人  |
| 山口赤十字病院  | 694人 |
| 小野田赤十字病院 | 108人 |
| 老人保健施設   | 45人  |
| 血液センター   | 57人  |
| 計        | 914人 |

### ・ 山口県日赤紺綬有功会

|     |     |
|-----|-----|
| 会員数 | 78人 |
|-----|-----|

# 平成30年度 活動資金募集進展状況表

平成30年4月1日～平成31年3月31日

| 地区名    | 一 般 社 資   |             |          | 法 人 社 資   |            |          | 合 計       |             |          |
|--------|-----------|-------------|----------|-----------|------------|----------|-----------|-------------|----------|
|        | 目標額<br>千円 | 実績額<br>円    | 達成率<br>% | 目標額<br>千円 | 実績額<br>円   | 達成率<br>% | 目標額<br>千円 | 実績額<br>円    | 達成率<br>% |
| 下関市    | 38,500    | 28,892,590  | 75.0     | 3,474     | 3,025,900  | 87.1     | 41,974    | 31,918,490  | 76.0     |
| 宇部市    | 24,220    | 21,961,573  | 90.7     | 1,894     | 1,604,000  | 84.7     | 26,114    | 23,565,573  | 90.2     |
| 山口市    | 29,140    | 21,906,085  | 75.2     | 2,488     | 2,437,650  | 98.0     | 31,628    | 24,343,735  | 77.0     |
| 萩・阿武   | 7,120     | 5,098,456   | 71.6     | 554       | 475,500    | 85.8     | 7,674     | 5,573,956   | 72.6     |
| 防府市    | 15,960    | 14,127,388  | 88.5     | 1,625     | 1,050,000  | 64.6     | 17,585    | 15,177,388  | 86.3     |
| 下松市    | 8,160     | 6,792,350   | 83.2     | 788       | 747,392    | 94.8     | 8,948     | 7,539,742   | 84.3     |
| 岩国市    | 19,520    | 14,277,390  | 73.1     | 1,431     | 1,470,000  | 102.7    | 20,951    | 15,747,390  | 75.2     |
| 光市     | 7,040     | 8,641,200   | 122.7    | 938       | 510,000    | 54.4     | 7,978     | 9,151,200   | 114.7    |
| 長門市    | 4,820     | 5,241,000   | 108.7    | 326       | 471,976    | 144.8    | 5,146     | 5,712,976   | 111.0    |
| 柳井市    | 4,760     | 5,307,109   | 111.5    | 383       | 497,000    | 129.8    | 5,143     | 5,804,109   | 112.9    |
| 美祢市    | 3,300     | 4,194,850   | 127.1    | 362       | 382,000    | 105.5    | 3,662     | 4,576,850   | 125.0    |
| 周南市    | 20,760    | 14,354,084  | 69.1     | 2,356     | 1,662,000  | 70.5     | 23,116    | 16,016,084  | 69.3     |
| 山陽小野田市 | 8,660     | 6,852,800   | 79.1     | 891       | 648,000    | 72.7     | 9,551     | 7,500,800   | 78.5     |
| 地区計    | 191,960   | 157,646,875 | 82.1     | 17,510    | 14,981,418 | 85.6     | 209,470   | 172,628,293 | 82.4     |
| 周防大島町  | 2,560     | 3,514,808   | 137.3    | 155       | 0          | 0.0      | 2,715     | 3,514,808   | 129.5    |
| 和木町    | 860       | 897,500     | 104.4    | 45        | 64,000     | 142.2    | 905       | 961,500     | 106.2    |
| 上関町    | 440       | 466,000     | 105.9    | 40        | 25,000     | 62.5     | 480       | 491,000     | 102.3    |
| 田布施町   | 2,060     | 2,471,100   | 120.0    | 121       | 85,000     | 70.2     | 2,181     | 2,556,100   | 117.2    |
| 平生町    | 1,640     | 1,932,400   | 117.8    | 97        | 2,000      | 2.1      | 1,737     | 1,934,400   | 111.4    |
| 東部     | 7,560     | 9,281,808   | 122.8    | 458       | 176,000    | 38.4     | 8,018     | 9,457,808   | 118.0    |
| 阿武町    | 480       | 719,000     | 149.8    | 32        | 21,000     | 65.6     | 512       | 740,000     | 144.5    |
| 分区計    | 8,040     | 10,000,808  | 124.4    | 490       | 197,000    | 40.2     | 8,530     | 10,197,808  | 119.6    |
| 支部     | 5,000     | 8,478,752   | 169.6    | 2,000     | 4,299,737  | 215.0    | 7,000     | 12,778,489  | 182.5    |
| 合 計    | 205,000   | 176,126,435 | 85.9     | 20,000    | 19,478,155 | 97.4     | 225,000   | 195,604,590 | 86.9     |

## 日本赤十字社山口県支部組織図

